

FUJITSU Software

Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0

A horizontal band featuring a red abstract graphic with flowing, curved lines and bright light flares, creating a sense of motion and energy.

クラスタ作成／拡張機能 設定値一覧

CA92344-3735-03
2020年10月

まえがき

本書の目的

本書では、サーバー、ストレージ、スイッチなどのICT機器からファシリティ機器(PDUなど)までを統合的に管理、運用する運用管理ソフトウェアであるFUJITSU Software Infrastructure Manager (以降、「ISM」と表記)に仮想基盤向け拡張機能を追加した、FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX (以降、「ISM for PRIMEFLEX」と表記)の各機能で設定するパラメーターについて説明します。

製品マニュアル

マニュアル名称	説明
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.6.0 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0 入門書	本製品を初めて使用する利用者向けのマニュアルです。本製品の製品体系／ライセンス、利用手順の概要について説明しています。 マニュアル内では、『入門書』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.6.0 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0 解説書	本製品の機能、導入手順、操作方法を説明したマニュアルです。本製品の全機能、全操作を把握できます。 マニュアル内では、『解説書』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.6.0 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0 操作手順書	本製品の導入手順、利用シーンに応じた操作手順を説明したマニュアルです。 マニュアル内では、『操作手順書』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.6.0 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0 REST API リファレンスマニュアル	お客様が作成したアプリケーションと本製品を連携する際に必要なAPIの使用方法、サンプル、パラメーター情報などを説明したマニュアルです。 マニュアル内では、『REST API リファレンスマニュアル』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.6.0 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0 メッセージ集	ISMおよびISM for PRIMEFLEX使用時に出力される各種メッセージの説明と、そのメッセージに対しての対処方法について説明しています。 マニュアル内では、『ISM メッセージ集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0 メッセージ集	ISM for PRIMEFLEX使用時に出力される各種メッセージの説明と、そのメッセージに対しての対処方法について説明しています。 マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX メッセージ集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.6.0 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0 プロファイル管理機能プロファイル設定項目集	管理対象機器のプロファイル作成の設定を行う際に選択する項目の詳細情報について説明しています。 マニュアル内では、『プロファイル管理機能プロファイル設定項目集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0 クラスタ作成／拡張機能 設定値一覧	ISM for PRIMEFLEXで利用できるクラスタ作成機能、クラスタ拡張機能の自動設定内容や各機能で使用されるクラスタ定義パラメーターについて説明しています。 マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.6.0 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0 用語集	本製品を使用するうえで理解が必要な用語の定義を説明した用語集です。 マニュアル内では、『用語集』と表記します。

マニュアル名称	説明
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.6.0 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.6.0 Plug-in and Management Pack セットアップガイド	Infrastructure Manager Plug-inの以下の機能について、インストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。 Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance Infrastructure Manager Management Pack for VMware vRealize Operations Infrastructure Manager Plug-in for VMware vRealize Orchestrator Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft Windows Admin Center マニュアル内では、『ISM Plug-in/MP セットアップガイド』と表記します。

上記マニュアルと併せて、ISMに関する最新情報については、当社の本製品Webサイトを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/>

管理対象の各ハードウェアについては、各ハードウェアのマニュアルを参照してください。

PRIMERGYの場合は、「ServerView Suite ServerBooks」、またはPRIMERGYマニュアルページを参照してください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>

本書の読者

このマニュアルは、サーバーやストレージなどのICT機器の統合的な管理・運用を検討される方で、かつ、ハードウェア、オペレーティングシステムおよびソフトウェアについて基礎的な知識を持つ方を対象とします。

本書の表記について

表記

キーボード

印字されない文字のキーストロークは、[Enter]や[F1]などのキーアイコンで表示されます。例えば、[Enter]はEnterというラベルの付いたキーを押すことを意味し、[Ctrl]+[B]は、CtrlまたはControlというラベルの付いたキーを押しながら[B]キーを押すことを意味します。

記号

特に注意すべき事項の前には、以下の記号が付いています。



ポイント

ポイントとなる内容について説明します。



注意

注意する項目について説明します。

変数: <xxx>

お使いの環境に応じた数値／文字列に置き換える必要のある変数を表します。

例: <IPアドレス>

略称

本書では、以下の例のとおりOSを略称で記載することがあります。

正式名称	略称	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter	Windows Server 2019 Datacenter	Windows Server 2019
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	Windows Server 2019 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials	Windows Server 2019 Essentials	
Red Hat Enterprise Linux 8.2 (for Intel64)	RHEL 8.2	Red Hat Enterprise Linux または Linux
SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 15 SP1(AMD64) SUSE 15 SP1(Intel64) または SLES 15 SP1(AMD64) SLES 15 SP1(Intel64)	SUSE Linux Enterprise Server または Linux
SUSE Linux Enterprise Server 15 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 15(AMD64) SUSE 15(Intel64) または SLES 15(AMD64) SLES 15(Intel64)	
VMware® vSphere™ ESXi 7.0	VMware ESXi 7.0	VMware ESXi
VMware Virtual SAN	vSAN	
Microsoft Storage Spaces Direct	S2D	

用語

本書で使用している主な略語および用語については、『用語集』を参照してください。

PDF表示アプリケーション(Adobe Readerなど)での操作について

PDF表示アプリケーションで以下の操作を行った場合、表示アプリケーションの仕様により、不具合(余分な半角空白の追加、半角空白の欠落、行末のハイフンの欠落、改行だけの行の欠落など)が発生することがあります。

- テキストファイルへの保存
- テキストのコピー&ペースト

高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。また、本製品を安全にお使いいただくためには、本製品のご使用にあたり各製品（ハードウェア、ソフトウェア）をご理解いただく必要があります。必ず各製品の注意事項に従ったうえで本製品をご使用ください。本書は本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

免責事項

本製品の運用を理由とする損失、免失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねます。本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Hyper-V、Active Directory、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat およびRed Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。

SUSEおよびSUSEロゴは、米国およびその他の国におけるSUSE LLCの商標または登録商標です。

VMware、VMwareロゴ、VMware ESXi、VMware SMPおよびVMotionはVMware,Incの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、インテル、Xeonは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Zabbixはラトビア共和国にあるZabbix LLCの商標です。

PostgreSQLはPostgreSQLの米国およびその他の国における商標です。

Apacheは、Apache Software Foundationの商標または登録商標です。

Ciscoは、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. およびその関連会社の商標です。

Elasticsearchは、Elasticsearch BVの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xenは、XenSource, Inc.の商標です。

Trend MicroおよびDeep Securityは、トレンドマイクロ株式会社の商標又は登録商標です。

その他の会社名と各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

著作権表示

Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

本書を無断で複製・転載することを禁止します。

改版履歴

版数	提供年月	章・節・項	変更箇所	変更内容
01	2020年5月	—	—	新規作成
02	2020年7月	3.1.9 構成ノード選択	注意	選択可能な対象サーバーの機種についての説明を追記
		3.2.7 構成ノード選択		
		3.3.9 構成ノード選択		
		3.4.6 構成ノード選択		

版数	提供年月	章・節・項	変更箇所	変更内容
		3.1.11 ノード詳細情報 - [OS]タブ	注意	OSの管理ユーザーのパスワードについての説明を追記
		3.3.11 ノード詳細情報 - [OS]タブ		
		4.1.5 詳細 - [OS個別情報]タブ	注意	Rootパスワードについての説明を追記
		4.2.5 詳細 - [OS個別情報]タブ		
		4.5.5 詳細 - [OS個別情報]タブ		
		4.6.5 詳細 - [OS個別情報]タブ		
		4.7.5 詳細 - [OS個別情報]タブ		
03	2020年10月	3.2.2 クラスタ基本情報	注意	クラスタ名についての説明を追記
		3.2.10 ノード詳細情報 - [仮想スイッチ]タブ	注意	クラスタ定義パラメーター設定値に注意を追加
		3.4.9 ノード詳細情報 - [仮想スイッチ]タブ		
		4.1.4 詳細 - [OS]タブ	—	管理LANネットワークポート設定の設定値を修正
		4.2.4 詳細 - [OS]タブ		
		4.5.4 詳細 - [OS]タブ		
		4.6.4 詳細 - [OS]タブ		
		4.7.4 詳細 - [OS]タブ		
		4.1.5 詳細 - [OS個別情報]タブ	—	ネットワークの設定項目を修正
		4.2.5 詳細 - [OS個別情報]タブ		
		4.5.5 詳細 - [OS個別情報]タブ		
		4.6.5 詳細 - [OS個別情報]タブ		
		4.7.5 詳細 - [OS個別情報]タブ		
		4.2.4 詳細 - [OS]タブ	—	ブートモード指定の設定項目を追加
		4.2.5 詳細 - [OS個別情報]タブ	—	ネットワークの設定項目を追加
		4.3.4 詳細 - [OS]タブ	—	管理LANネットワークポート設定の設定値を修正
		4.4.4 詳細 - [OS]タブ		RAIDとディスクの構成の設定項目を修正
		4.8.4 詳細 - [OS]タブ		ボリュームの設定項目を修正
				役割と機能の追加の設定項目を修正
		4.3.5 詳細 - [OS個別情報]タブ	—	ワークグループ/ドメインの設定項目を修正
		4.4.5 詳細 - [OS個別情報]タブ		ネットワークの設定項目を修正
		4.8.5 詳細 - [OS個別情報]タブ		

目 次

第1章 クラスタ作成の自動設定値一覧	1
1.1 PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧	1
1.1.1 ISM-[管理]-[ノード]-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[ノードリスト]	1
1.1.2 ISM-[管理]-[クラスタ]	2
1.1.3 ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<新規クラスタを構成するノード名>]	2
1.1.4 PRIMEFLEX for VMware vSAN構成のADVM	2
1.1.5 新規クラスタを構成するサーバーのiRMC S5 Web Server-[設定]-[ユーザ管理]	2
1.1.6 新規クラスタを構成するサーバーのiRMC S5 Web ServerのLDAP	3
1.1.7 新規クラスタを構成するサーバーのESXiの設定	4
1.1.8 クラスタvCSAの設定	5
1.1.9 PRIMERGY RXシリーズ構成のクラスタvCSAの新規クラスタを構成するホストに対する設定	8
1.1.10 PRIMERGY CXシリーズ構成のクラスタvCSAの新規クラスタを構成するホストに対する設定	10
1.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIの自動設定値一覧	13
1.2.1 ISM-[管理]-[ノード]-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[ノードリスト]	13
1.2.2 ISM-[管理]-[クラスタ管理]	14
1.2.3 ISM-[設定]-[全般]	14
1.2.4 ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<新規クラスタを構成するノード名>]	15
1.2.5 新規クラスタを構成するサーバーのiRMC S5 Web Server-[設定]-[ユーザー管理]	15
1.2.6 新規クラスタを構成するサーバーのiRMC S5 Web ServerのLDAP	16
1.2.7 Windows Server Failover Clusterの設定	16
1.2.8 新規クラスタを構成するサーバーのWindows Serverの設定	17
第2章 クラスタ拡張の自動設定値一覧	21
2.1 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧	21
2.1.1 ISM-[管理]-[ノード]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]-[ノードリスト]	21
2.1.2 ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]	22
2.1.3 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSAN構成のADVM	22
2.1.4 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S4 Web Serverのユーザ管理	22
2.1.5 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S5 Web Server-[設定]-[ユーザー管理]	23
2.1.6 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S4 Web ServerのLDAP構成設定	23
2.1.7 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S5 Web ServerのLDAP	24
2.1.8 クラスタ拡張時に追加するサーバーのESXiの設定	25
2.1.9 クラスタvCSAの設定	26
2.1.10 PRIMERGY RXシリーズ構成の既存クラスタvCSAのクラスタ拡張時に追加するホストに対する設定	26
2.1.11 PRIMERGY CXシリーズ構成の既存クラスタvCSAのクラスタ拡張時に追加するホストに対する設定	28
2.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIの自動設定値一覧	33
2.2.1 ISM-[管理]-[ノード]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]-[ノードリスト]	33
2.2.2 ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]	34
2.2.3 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S5 Web Server-[設定]-[ユーザー管理]	34
2.2.4 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S5 Web ServerのLDAP	35
2.2.5 クラスタ拡張時に追加するサーバーのWindows Serverの設定	35
第3章 クラスタ定義パラメーターの設定値一覧	40
3.1 PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)	40
3.1.1 CMS情報	40
3.1.2 クラスタ基本情報	40
3.1.3 クラスタ詳細情報 - [DNS]タブ	41
3.1.4 クラスタ詳細情報 - [NTP]タブ	42
3.1.5 クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ	42
3.1.6 クラスタ詳細情報 - [機能]タブ	43
3.1.7 クラスタ詳細情報 - [ネットワーク]タブ	44
3.1.8 クラスタ詳細情報 - [ストレージプール]タブ	46
3.1.9 構成ノード選択	46
3.1.10 ノード詳細情報 - [iRMC]タブ	47
3.1.11 ノード詳細情報 - [OS]タブ	47
3.1.12 ノード詳細情報 - [vDS]タブ	47

3.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)	50
3.2.1 CMS情報	50
3.2.2 クラスタ基本情報	51
3.2.3 クラスタ詳細情報-[DNS]タブ	51
3.2.4 クラスタ詳細情報-[LDAP]タブ	52
3.2.5 クラスタ詳細情報-[ネットワーク]タブ	53
3.2.6 クラスタ詳細情報-[ストレージプール]タブ	54
3.2.7 構成ノード選択	55
3.2.8 ノード詳細情報-[iRMC]タブ	56
3.2.9 ノード詳細情報-[OS]タブ	56
3.2.10 ノード詳細情報-[仮想スイッチ]タブ	57
3.3 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)	58
3.3.1 PRIMERGY RXシリーズ構成のクラスタ基本情報	59
3.3.2 PRIMERGY CXシリーズ構成のクラスタ基本情報	59
3.3.3 クラスタ詳細情報-[DNS]タブ	60
3.3.4 クラスタ詳細情報-[NTP]タブ	61
3.3.5 クラスタ詳細情報-[LDAP]タブ	61
3.3.6 クラスタ詳細情報-[機能]タブ	62
3.3.7 クラスタ詳細情報-[ネットワーク]タブ	63
3.3.8 クラスタ詳細情報-[ストレージプール]タブ	66
3.3.9 構成ノード選択	66
3.3.10 ノード詳細情報-[iRMC]タブ	66
3.3.11 ノード詳細情報-[OS]タブ	67
3.3.12 ノード詳細情報-[vDS]タブ	67
3.4 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)	73
3.4.1 クラスタ基本情報	73
3.4.2 クラスタ詳細情報-[DNS]タブ	73
3.4.3 クラスタ詳細情報-[LDAP]タブ	74
3.4.4 クラスタ詳細情報-[ネットワーク]タブ	75
3.4.5 クラスタ詳細情報-[ストレージプール]タブ	76
3.4.6 構成ノード選択	77
3.4.7 ノード詳細情報-[iRMC]タブ	78
3.4.8 ノード詳細情報-[OS]タブ	78
3.4.9 ノード詳細情報-[仮想スイッチ]タブ	78
第4章 プロファイルの設定値一覧	81
4.1 PRIMEFLEX for VMware vSAN V1のクラスタを作成する場合のプロファイル設定値一覧	81
4.1.1 基本情報	81
4.1.2 詳細-[BIOS]タブ	81
4.1.3 詳細-[iRMC]タブ	82
4.1.4 詳細-[OS]タブ	83
4.1.5 詳細-[OS個別情報]タブ	84
4.2 PRIMEFLEX for VMware vSAN V2のクラスタを作成する場合のプロファイル設定値一覧	84
4.2.1 基本情報	84
4.2.2 詳細-[BIOS]タブ	85
4.2.3 詳細-[iRMC]タブ	85
4.2.4 詳細-[OS]タブ	86
4.2.5 詳細-[OS個別情報]タブ	87
4.3 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces DirectV1のクラスタを作成する場合のプロファイル設定値一覧	88
4.3.1 基本情報	88
4.3.2 詳細-[BIOS]タブ	88
4.3.3 詳細-[iRMC]タブ	89
4.3.4 詳細-[OS]タブ	89
4.3.5 詳細-[OS個別情報]タブ	91
4.4 PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCI V1のクラスタを作成する場合のプロファイル設定値一覧	92

4.4.1 基本情報.....	92
4.4.2 詳細 - [BIOS]タブ.....	92
4.4.3 詳細 - [iRMC]タブ.....	93
4.4.4 詳細 - [OS]タブ.....	94
4.4.5 詳細 - [OS個別情報]タブ.....	96
4.5 PRIMEFLEX HSにPRIMERGY M4シリーズをクラスタ拡張する場合のプロファイル設定値一覧.....	96
4.5.1 基本情報.....	96
4.5.2 詳細 - [BIOS]タブ.....	97
4.5.3 詳細 - [iRMC]タブ.....	97
4.5.4 詳細 - [OS]タブ.....	98
4.5.5 詳細 - [OS個別情報]タブ.....	99
4.6 PRIMEFLEX HSにPRIMERGY M5シリーズをクラスタ拡張する場合のプロファイル設定値一覧.....	100
4.6.1 基本情報.....	100
4.6.2 詳細 - [BIOS]タブ.....	100
4.6.3 詳細 - [iRMC]タブ.....	101
4.6.4 詳細 - [OS]タブ.....	102
4.6.5 詳細 - [OS個別情報]タブ.....	102
4.7 PRIMEFLEX for VMware vSAN V1にPRIMERGY M5シリーズをクラスタ拡張する場合のプロファイル設定値一覧.....	103
4.7.1 基本情報.....	103
4.7.2 詳細 - [BIOS]タブ.....	104
4.7.3 詳細 - [iRMC]タブ.....	104
4.7.4 詳細 - [OS]タブ.....	105
4.7.5 詳細 - [OS個別情報]タブ.....	106
4.8 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct V1にPRIMERGY M5シリーズをクラスタ拡張する場合のプロファイル設定値一覧.....	106
4.8.1 基本情報.....	107
4.8.2 詳細 - [BIOS]タブ.....	107
4.8.3 詳細 - [iRMC]タブ.....	108
4.8.4 詳細 - [OS]タブ.....	109
4.8.5 詳細 - [OS個別情報]タブ.....	110

第1章 クラスタ作成の自動設定値一覧

クラスタ作成機能の実行により、自動で設定される設定値について説明します。

ポイント

CMSとはクラウドマネージメントソフトウェアの略称です。

1.1 PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧

PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値について説明します。

以降の表の「変更可否」列の記載は、既存クラスタの設定値をPRIMEFLEX構成の設定値から変更していた場合、クラスタ作成の実行が可能かどうかを表しています。

表1.1 「変更可否」の記載について

変更可否	意味	説明
○	変更可	クラスタ作成機能に影響しない設定値のため、変更可です。
×	変更不可	クラスタ作成機能に影響する設定値のため、変更不可です。 変更した場合は、クラスタ作成機能が正常に動作しません。
—	変更対象外	以下に該当する設定値のため、変更可否の対象外です。 - クラスタ作成機能により、既存の設定に関わらず記載の値に上書きする設定値 - クラスタ作成機能により、記載の値でこれから構築する設定値

注意

- 「設定値」の記載について
 - 設定値のうしろに*がある設定値は、「クラスタ作成」ウィザードで入力した値が設定されます。
 - 「設定値」の一部には、値ではなく設定箇所が記載されているものがあります。実際の値については、該当の設定箇所をご確認ください。

1.1.1 ISM-[管理]-[ノード]-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[ノードリスト]

設定項目		設定値	変更可否
「編集」ウィザードの[通信方法]			
	パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	—
[プロパティ]タブ			
	Web I/F URL	https://<iRMCのIPアドレス>/	—
[ログ収集設定]タブ			
保有期間			
	イベントログ(日間)	7	—
	操作ログ(日間)	7	—
	セキュリティログ(日間)	7	—
	保管ログ(世代)	7	—

設定項目		設定値	変更可否
	ログ収集ターゲット		
	ハードウェアログ	有効	—
	オペレーティングシステムログ	有効	—
	スケジュール		
	スケジュール	有効	—
	スケジュールタイプ	曜日指定	—
	曜日	毎週	—
	曜日	土	—
	時間	0:00	—

1.1.2 ISM-[管理]-[クラスタ]

設定項目		設定値	変更可否
仮想リソース			
	VMware Virtual SAN	作成したクラスタの情報を追加	—
その他			
	クラスタ情報	作成したクラスタの情報を追加	—

1.1.3 ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<新規クラスタを構成するノード名>]

設定項目		設定値	変更可否
[OS]タブ			
	インストール後のスクリプト実行		
	インストール後のスクリプト実行	有効	—
	スクリプト格納ディレクトリ	kickstart	—
	実行するスクリプト	ESXi_Setting.sh	—

1.1.4 PRIMEFLEX for VMware vSAN構成のADVM

設定項目		設定値	変更可否
[DNSマネージャー]-[<ドメイン名>]			
	前方参照ゾーンへのホストレコード[注1]	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*	—
	逆引き参照ゾーンへのホストレコード[注1]	新規クラスタを構成するサーバーのESXi IPアドレス[注2]	—

[注1]:PRIMEFLEX構成のADVMを使用していない時は登録しません。お客様環境の既存AD構成時は、『操作手順書』の「6.7.1.3 DNSへホストレコードを登録する」で登録してください。

[注2]:新規クラスタを構成するサーバーのESXi IPアドレスは、「ノードリスト」画面-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[OS]タブ-[基本情報]-[登録IPアドレス]の値が設定されます。

1.1.5 新規クラスタを構成するサーバーのiRMC S5 Web Server-[設定]-[ユーザ管理]

設定項目		設定値	変更可否
[iRMCローカルユーザアカウント]-[管理ユーザー]			
ユーザ情報			
	ユーザを有効にする	有効	—
	名前	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[ユーザー名]*	—
	パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[パスワード]*	—
アクセス設定			
Redfish/WebUI 権限			
	Redfish/Web UI ユーザを有効にする	有効	—
	Redfish ロール	管理者	—
IPMI 権限			
	LAN チャネル権限	OEM	—
	シリアルアクセス権限	OEM	—
	ユーザアカウント変更を有効にする	有効	—
	iRMC 設定変更を有効にする	有効	—
AVR 権限			
	ビデオリダイレクションを有効にする	有効	—
	リモートストレージを有効にする	有効	—
その他			
	使用シェル (Textアクセス)	リモートマネージャー	—
[iRMCローカルユーザアカウント]-[adminユーザー]			
ユーザ情報			
	パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	—

1.1.6 新規クラスタを構成するサーバーのiRMC S5 Web ServerのLDAP

設定項目		設定値	変更可否
[ユーザー管理]-[LDAP] [注]			
	LDAPを有効にする	true	—
	LDAP SSL を有効にする	false	—
	ローカルIDでのログイン無効化	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ローカルユーザーによるログイン]*	—
	ディレクトリサーバータイプ	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ディレクトリサーバータイプ]*	—
	ドメイン名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ドメイン名]*	—
	組織名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[部署名]*	—
プライマリ LDAP サーバー			

設定項目		設定値	変更可否
	サーバー	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ホスト名またはIPアドレス]*	—
	ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ポート番号]*	—
	SSL ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ TLS/SSLポート番号]*	—
	バックアップLDAP サーバー		
	サーバー	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ホスト名またはIPアドレス]*	—
	ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ポート番号]*	—
	SSL ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ TLS/SSLポート番号]*	—

[注]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

1.1.7 新規クラスタを構成するサーバーのESXiの設定

設定項目		設定値	変更可否
OS			
	VMware ESXi	インストール	—
	ESXiパッチ	ISMにファイルがアップロードされていれば適用する	—
SMI-Sプロバイダ			
	VMware SMIS Provider	ISMにファイルがアップロードされていれば適用する [注1]	—
ドライバー			
	ixgbenドライバー	有効	—
[Host Client]-[管理]-[システム]-[日付と時刻]			
	現在の日付と時刻	UTC (協定世界時)	—
	NTPサーバー	[クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPサーバー1ホスト名またはIPアドレス]* [クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPサーバー2ホスト名またはIPアドレス]*	—
[Host Client]-[管理]-[サービス]			
	TSM	起動/停止 [注2]	—
	TSM-SSH	起動/停止 [注2]	—
	lwsmd	起動 [注3]	—
	ntpd	起動	—
[Host Client]-[管理]-[セキュリティとユーザー]			
	ユーザー名	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー名]*	—
	パスワード	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザーのパスワード]*	—
	認証 ドメインに参加 [注4]	有効	—
[Host Client]-[管理]-[ハードウェア]-[電源管理]			

設定項目		設定値	変更可否
	アクティブなポリシー	高パフォーマンス	—
[Host Client]-[ストレージ]-[データストア]			
	ローカルデータストア名のリネーム	LacalDatastore_<ホスト名> [注5]	—
[Host Client]-[ネットワーク]-[TCP/IPスタック]-[デフォルトのTCP/IPスタック]-[DNS設定]			
	アドレス	ISMのプロファイルに指定したDNSサーバーのIPアドレス [クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[セカンダリDNSサーバーIPアドレス]*	—
	ドメインの検索	[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[ドメイン名]*	—
[Host Client]-[ネットワーク]-[ファイアウォール ルール]			
	NTP クライアント	起動	—
[Host Client]-[ホスト]-[アクション]-[権限]-[ユーザーの追加]			
	ロールの設定	Host/virtual machineに関するAdmin権限を追加	—
その他			
	FQDNの設定	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名].[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[ドメイン名]*	—
	IPv6	無効	—
	既存のVM Networkポートグループ	削除	—
	SSL v3	有効	—
	tos maxdist[注6]	[クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPピアとの最大間隔]*	—

[注1]: VMware ESXi 6.5.0.5310538の場合に設定する設定値です。

[注2]: クラスタ作成の実行中は起動に設定します。

[注3]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は起動されません。

[注4]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

[注5]: datastore1からリネームされます。<ホスト名>は「ノードリスト」画面-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

[注6]: /etc/ntp.confファイルの「tos maxdist」に設定する設定値です。

1.1.8 クラスタvCSAの設定

設定項目		設定値	変更可否
クラスタ			
	データセンター名	[クラスタ基本情報]-[データセンター名]*	—
	クラスタ名	[クラスタ基本情報]-[クラスタ名]*	—
	vSphere DRS	無効	—
	VMware EVC	無効	—
vSphereの可用性			
	vSphere HA	有効	—
	ホスト失敗	仮想マシンの再起動	—
	ホスト隔離	仮想マシンをパワーオフして再起動	—
	PDL (Permanent Device Loss) 状態のデータストアの障害応答	無効	—

設定項目		設定値	変更可否
	APD (All Paths Down) 状態のデータストアへの対応	無効	—
	仮想マシンの監視	有効	—
	アプリケーションの監視	無効	—
	詳細オプション das.registerRestartDisabledVMs	false	—
	詳細オプション das.useDefaultIsolationAddress	false	—
	詳細オプション das.isolationAddress0	[クラスタ詳細情報]-[機能]タブ-[vSphere HA]-[隔離時の応答アドレス1]*	—
	詳細オプション das.isolationAddress1	[クラスタ詳細情報]-[機能]タブ-[vSphere HA]-[隔離時の応答アドレス2]*	—
vSAN			
	vSAN	有効	—
	ストレージへのディスクの追加	[クラスタ詳細情報]-[機能]タブ-[vSAN設定]-[ストレージへのディスクの追加]*	—
	デデュープおよび圧縮	[クラスタ詳細情報]-[機能]タブ-[vSAN設定]-[デデュープおよび圧縮]*	—
vDS設定 [注1]			
	vDS数	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]*に指定したvDSの数	—
	vDS名	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[vDS名]*	—
	バージョン	6.5.0	—
	Network I/O Control	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[NIOC]*	—
	MTU	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[MTU]*	—
	マルチキャストフィルタリングモード	基本	—
	スイッチ検出プロトコル タイプ	LLDP	—
	スイッチ検出プロトコル 操作	待機	—
	アップリンク数	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[アップリンク名]*に指定したアップリンク名の数	—
	アップリンク名	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[アップリンク名]*	—
vDS設定-ポートグループ [注1]			
	ポートグループの数	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]*に指定したポートグループ数	—

設定項目	設定値	変更可否
ポートグループ名	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[ポートグループ名]*	—
タイプ	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[タイプ]*	—
ポートバインド	静的バインド	—
ポートの割り当て	弾性	—
ポート数	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[ポート数]*	—
ネットワークリソースプール	デフォルト	—
VLANタイプ	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[VLANタイプ]*	—
VLAN ID	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[VLAN ID]*	—
トラフィックタイプ	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[NIOC設定]-[トラフィック]*	—
シェア値	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[NIOC設定]-[<トラフィック>]-[シェア]*	—
予約	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[NIOC設定]-[<トラフィック>]-[予約]*	—
制限	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[NIOC設定]-[<トラフィック>]-[制限]*	—
フェイルオーバーの順序 アップリンク名	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[アップリンク名]*	—
フェイルオーバーの順序 分散方法	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[フェイルオーバーの順序]-[分散方法]*	—
フェイルオーバーの順序	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[フェイルオーバーの優先順序設定]-[優先順序]*	—
ポリシー設定 セキュリティ 無差別モード	拒否	—
ポリシー設定 セキュリティ MACアドレス変更	拒否	—
ポリシー設定 セキュリティ 偽装転送	拒否	—
ポリシー設定 トラフィックシェーピング ステータス	無効	—

設定項目		設定値	変更可否
	ポリシー設定 トラフィックシェーピング 平均バンド幅	—	—
	ポリシー設定 トラフィックシェーピング ピークバンド幅	—	—
	ポリシー設定 トラフィックシェーピング バーストサイズ	—	—
	ポリシー設定 チーミングおよびフェイルオーバー ロードバランシング	発信元の仮想ポートに基づいたルート	—
	ポリシー設定 チーミングおよびフェイルオーバー ネットワークの障害検出	リンク状態のみ	—
	ポリシー設定 チーミングおよびフェイルオーバー スイッチへの通知	する	—
	ポリシー設定 チーミングおよびフェイルオーバー フェイルバック	有効	—
データストア			
	名前	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージプール名]*	—
	タイプ	vsan	—
	デフォルトストレージポリシー	Virtual SAN Default Storage Policy	—
ディスク管理			
	ディスクグループ[注2]		
	ディスクグループ数	1	—
	キャッシュ	SSD	—
	容量	HDD	—

[注1]:既存クラスタのvDSを指定した場合は設定されません。

[注2]:新規クラスタを構成するホストごとに指定します。

1.1.9 PRIMERGY RXシリーズ構成のクラスタvCSAの新規クラスタを構成するホストに対する設定

設定項目		設定値	変更可否
Virtual Standard Switch (vSS:標準仮想スイッチ) - vSwitch0(ビルトイン仮想スイッチ)			
	vSwitch0	削除	—
	すべてのvmnic	削除	—
	Management Network	削除	—
Virtual Distribution Switch (vDS:分散仮想スイッチ) - 業務用仮想スイッチ			
	管理トラフィック	—	—
	VLANID	—	—

設定項目		設定値	変更可否
	MTU	—	—
	管理IPアドレス	—	—
	サブネットマスク	—	—
	フェイルバック	—	—
	uplink1	—	—
	uplink2	—	—
	vmk0	—	—
Virtual Distribution Switch (vDS: 分散仮想スイッチ)- 管理用仮想スイッチ			
	管理トラフィック	チェック	—
	VLANID	0	—
	MTU	1500	—
	管理IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—
	サブネットマスク	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
	フェイルバック	True	—
	uplink1	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vmnic名<vmnic2>]* [注1]	—
	uplink2	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vmnic名<vmnic4>]* [注1]	—
	vmk0	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
	vmk1	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
	vmk2	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
	vSANネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—
	vSANネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
	vMotionネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—
	vMotionネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
	[ネットワーク]-[Distributed Switch]-[<管理用仮想スイッチ>]-[設定]-[システムトラフィック]-[管理トラフィック]		
	シェア値	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[NIOC設定]-[管理]-[シェア]*	—
	予約	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[NIOC設定]-[管理]-[予約]*	—
ディスク			

設定項目		設定値	変更可否
	ハードディスク ローカルとしてマーク	true	—
	SSD キャッシュ用以外のSSDをキャパシティ としてマーク (All Flash構成時)	True [注2]	—
データセンター			
	新規クラスタを構成するノードを仮想 ネットワークへ追加<業務用分散仮想 スイッチ名>	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ 設定情報]-[vDS-1]-[vDS名]*	—
	新規クラスタを構成するノードを仮想 ネットワークへ追加<管理用分散仮想 スイッチ名>	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ 設定情報]-[vDS-2]-[vDS名]*	—
	新規クラスタを構成するホストをデータ センターへ追加	[クラスタ基本情報]-[データセンター名]*	—
クラスタ			
	フォールトドメインおよびストレッチクラス タ	fd_<ホスト名> [注2]	—
	新規クラスタを構成するノードをクラス タへ追加	[クラスタ基本情報]-[クラスタ名]*	—

[注1]:PRIMERGY RX4770 M5の場合、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

[注2]:2種類のSSDのうち、本数が少ない方(SSDの本数が同じとき、容量の小さい方)はキャッシュ用のSSDとして設定されます。

[注3]:<ホスト名>は「ノードリスト」画面-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

1.1.10 PRIMERGY CXシリーズ構成のクラスタvCSAの新規クラスタを構成するホストに対する設定

設定項目		設定値	変更可否
Virtual Standard Switch (vSS:標準仮想スイッチ)- vSwitch0(ビルトイン仮想スイッチ)			
	vSwitch0	削除	—
	すべてのvmnic	削除	—
	Management Network	削除	—
Virtual Distribution Switch (vDS:分散仮想スイッチ)- 業務用仮想スイッチ			
	管理トラフィック	—	—
	VLANID	—	—
	MTU	—	—
	管理IPアドレス	—	—
	サブネットマスク	—	—
	フェイルバック	—	—
	uplink1	—	—
	uplink2	—	—
	vmk0	—	—

設定項目		設定値	変更可否
Virtual Distribution Switch (vDS: 分散仮想スイッチ)- 管理用仮想スイッチ			
管理トラフィック		チェック	—
VLANID		0	—
MTU		1500	—
管理IPアドレス		[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—
サブネットマスク		[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
フェイルバック		True	—
uplink1		[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vmnic名<vmnic1>]*	—
uplink2		[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vmnic名<vmnic3>]*	—
vmk0		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
vmk1		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
vmk2		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
vSANネットワーク用IPアドレス		[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—
vSANネットワーク用サブネットマスク		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
vMotionネットワーク用IPアドレス		[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—
vMotionネットワーク用サブネットマスク		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
[ネットワーク]-[Distributed Switch]-[<管理用仮想スイッチ>]-[設定]-[システムトラフィック]-[管理トラフィック]			
シェア値		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[NIOC設定]-[管理]-[シェア]*	—
予約		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[NIOC設定]-[管理]-[予約]*	—
ディスク			
ハードディスク ローカルとしてマーク		true	—
SSD キャッシュ用以外のSSDをキャパシティとしてマーク (All Flash構成時)		True [注1]	—
データセンター			

設定項目		設定値	変更可否
	新規クラスタを構成するノードを仮想ネットワークへ追加<業務用分散仮想スイッチ名>	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[vDS名]*	—
	新規クラスタを構成するノードを仮想ネットワークへ追加<管理用分散仮想スイッチ名>	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[vDS名]*	—
	新規クラスタを構成するホストをデータセンターへ追加	[クラスタ基本情報]-[データセンター名]*	—
クラスタ			
	フォールトドメインおよびストレッチクラスタ	fd_<ホスト名> [注2]	—
	新規クラスタを構成するノードをクラスタへ追加	[クラスタ基本情報]-[クラスタ名]*	—

[注1]:2種類のSSDのうち、本数が少ない方(SSDの本数が同じとき、容量の小さい方)はキャッシュ用のSSDとして設定されます。

[注2]:<ホスト名>は「ノードリスト」画面-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

表1.2 vmnic名、アップリンク名の自動設定値

設定項目	設定値	
	PRIMERGY RX M4シリーズ／PRIMERGY RX M5シリーズの場合	PRIMERGY CX M4シリーズ／PRIMERGY CX M5シリーズの場合
vmnic名	- vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) - 業務系ポート#1:vmnic1[注1] - 業務系ポート#2:vmnic3[注1][注2] - vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) — 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic2[注1] Standby:vmnic4[注1][注2] — vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic2[注1] Standby:vmnic4[注1][注2] — vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic4[注1][注2] Standby:vmnic2[注1]	- vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) - 業務系ポート#1:vmnic2 - 業務系ポート#2:vmnic4[注2] - vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) — 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic1 Standby:vmnic3 — vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic1 Standby:vmnic3 — vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic3 Standby:vmnic1
アップリンク名	- vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) - 業務系ポート#1:Uplink2 - 業務系ポート#2:Uplink4 - vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) — 管理用ネットワークポートグループ Active:Uplink1 Standby:Uplink3 — vMotion用ネットワークポートグループ Active:Uplink1 Standby:Uplink3	- vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) - 業務系ポート#1:Uplink2 - 業務系ポート#2:Uplink4 - vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) — 管理用ネットワークポートグループ Active:Uplink1 Standby:Uplink3 — vMotion用ネットワークポートグループ Active:Uplink1 Standby:Uplink3

設定項目	設定値	
	PRIMERGY RX M4シリーズ／PRIMERGY RX M5シリーズの場合	PRIMERGY CX M4シリーズ／PRIMERGY CX M5シリーズの場合
	— vSAN用ネットワークポートグループ Active:Uplink3 Standby:Uplink1	— vSAN用ネットワークポートグループ Active:Uplink3 Standby:Uplink1

[注1]:PRIMERGY RX4770 M5の場合、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

[注2]:拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

1.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIの自動設定値一覧

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIの自動設定値について説明します。

以降の表の「変更可否」列の記載は、既存クラスタの設定値をPRIMEFLEX構成の設定値から変更していた場合、クラスタ作成の実行が可能かどうかを表しています。

表1.3「変更可否」の記載について

変更可否	意味	説明
○	変更可	クラスタ作成機能に影響しない設定値のため、変更可です。
×	変更不可	クラスタ作成機能に影響する設定値のため、変更不可です。 変更した場合は、クラスタ作成機能が正常に動作しません。
—	変更対象外	以下に該当する設定値のため、変更可否の対象外です。 ・ クラスタ作成機能により、既存の設定に関わらず記載の値に上書きする設定値 ・ クラスタ作成機能により、記載の値でこれから構築する設定値



注意

「設定値」の記載について

- 設定値のうしろに*がある設定値は、「クラスタ作成」ウィザードで入力した値が設定されます。
- 「設定値」の一部には、値ではなく設定箇所が記載されているものがあります。実際の値については、該当の設定箇所をご確認ください。

1.2.1 ISM-[管理]-[ノード]-[＜新規クラスタを構成するノード名＞]-[ノードリスト]

設定項目	設定値	変更可否
「編集」ウィザードの[通信方法]		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	—
[プロパティ]タブ		
Web I/F URL	https://＜iRMCのIPアドレス＞/	—
[OS]タブ		
アカウント	pflocaladmin	—
[ログ収集設定]タブ		
保有期間		
イベントログ(日間)	7	—

設定項目		設定値	変更可否
	操作ログ(日間)	7	—
	セキュリティログ(日間)	7	—
	保管ログ(世代)	7	—
	ログ収集ターゲット		
	ハードウェアログ	無効 [注1]	—
		有効 [注2]	
	オペレーティングシステムログ	有効	—
	ServerView Suiteログ	有効 [注2]	—
	スケジュール		
	スケジュール	有効	—
	スケジュールタイプ	曜日指定	—
	曜日	毎週	—
	曜日	土	—
	時間	0:00	—

[注1]:PRIMERGY M4シリーズの場合に設定する設定値です。

[注2]:PRIMERGY M5シリーズの場合に設定する設定値です。

1.2.2 ISM-[管理]-[クラスタ管理]

設定項目		設定値	変更可否
仮想リソース			
	Microsoft Failover Cluster	作成したクラスタの情報を追加	—
その他			
	クラスタ情報	作成したクラスタの情報を追加	—

1.2.3 ISM-[設定]-[全般]

設定項目		設定値	変更可否
仮想化管理ソフトウェア			
	仮想化管理ソフトウェア名	[CMS情報]-[仮想化管理ソフトウェア名]*	—
	IPアドレス	[CMS情報]-[IPv4アドレス]*	—
	タイプ	Microsoft Failover Cluster(Windows Server 2016)または Microsoft Failover Cluster(Windows Server 2019)[注1]	—
	ドメイン名	[CMS情報]-[ドメイン名]*	—
	アカウント名	[CMS情報]-[ユーザー名]*	—
	パスワード	[CMS情報]-[パスワード]*	—
	ポート番号	[CMS情報]-[WinRMサービス(SSL)ポート番号]*	—
	ユーザグループ名	pfadministratorsまたはpfadministrator[注2]	—

[注1]:ISMのプロファイルに指定したOSのインストールメディアを設定します。

[注2]:ISMのユーザグループに登録されているpfadministratorsまたはpfadministratorを設定します。両方登録されている場合には、pfadministratorsを設定します。

1.2.4 ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<新規クラスタを構成するノード名>]

設定項目	設定値	変更可否
[OS]タブ		
インストール後のスクリプト実行		
インストール後のスクリプト実行	有効	—
OSに転送するディレクトリ	postscript_ClusterOperation	—
実行するスクリプト	WinSvr_Setting.bat	—

1.2.5 新規クラスタを構成するサーバーのiRMC S5 Web Server-[設定]-[ユーザー管理]

設定項目	設定値	変更可否
[iRMCローカルユーザアカウント]-[管理ユーザー]		
ユーザ情報		
ユーザを有効にする	有効	—
名前	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[ユーザー名]*	—
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[パスワード]*	—
アクセス設定		
Redfish/WebUI 権限		
Redfish/Web UI ユーザを有効にする	有効	—
Redfish ロール	管理者	—
IPMI 権限		
LAN チャネル権限	OEM	—
シリアルアクセス権限	OEM	—
ユーザアカウント変更を有効にする	有効	—
iRMC 設定変更を有効にする	有効	—
AVR 権限		
ビデオリダイレクションを有効にする	有効	—
リモートストレージを有効にする	有効	—
その他		
使用シェル(Textアクセス)	リモートマネージャー	—
[iRMCローカルユーザアカウント]-[adminユーザー]		
ユーザ情報		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	—

1.2.6 新規クラスタを構成するサーバーのiRMC S5 Web ServerのLDAP

設定項目		設定値	変更可否
[ユーザー管理]-[LDAP] [注]			
LDAPを有効にする		true	—
LDAP SSL を有効にする		false	—
ローカルIDでのログイン無効化		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ローカルユーザーによるログイン]*	—
ディレクトリサーバータイプ		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ディレクトリサーバータイプ]*	—
ドメイン名		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ドメイン名]*	—
組織名		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[部署名]*	—
プライマリ LDAP サーバー			
サーバー		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ホスト名またはIPアドレス]*	—
ネットワークポート		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ポート番号]*	—
SSL ネットワークポート		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ SSLポート番号]*	—
バックアップ LDAP サーバー			
サーバー		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ホスト名またはIPアドレス]*	—
ネットワークポート		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ポート番号]*	—
SSL ネットワークポート		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ SSLポート番号]*	—

[注]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

1.2.7 Windows Server Failover Clusterの設定

設定項目		設定値	変更可否
クラスタ作成			
クラスタ名		[クラスタ基本情報]-[クラスタ名]*	—
クラスタネットワーク作成			
作成するクラスタネットワーク数		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]に指定したネットワーク名の数	—
ネットワーク名		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[ネットワーク名]* [注]	—
Role設定		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[Role設定]*	—
IPアドレス		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[IPv4ネットワークアドレス]*	—
サブネットマスク		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[IPv4サブネットマスク]*	—
ライブマイグレーション用ネットワークの設定			
優先順序		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[ネットワーク名]*で指定した順	—
ストレージプール			
ストレージプールのフレンドリーネーム		S2D on <クラスタ名>	—

設定項目		設定値	変更可否
ジャーナル設定			
	メディアタイプ	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ジャーナル設定]-[メディアタイプ]*	—
	バスタイプ	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ジャーナル設定]-[バスタイプ]*	—
ストレージティア設定			
	ストレージティア名	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージティア設定]-[ストレージティア名]*	—
	メディアタイプ	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージティア設定]-[メディアタイプ]*	—
	回復性	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージティア設定]-[回復性]*	—
	冗長性	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージティア設定]-[冗長性]*	—
	データコピー数	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージティア設定]-[データコピー数]*	—

[注]:PRIMERGY M5シリーズの場合、[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]は「Storage」に変更して設定します。

1.2.8 新規クラスタを構成するサーバーのWindows Serverの設定

設定項目		設定値	変更可否
WinRM			
	ベーシック認証	true	—
サービスの有効化			
	CredSSP	有効	—
CredSSP			
	サーバーロール	有効	—
	クライアントロール	有効	—
証明書			
	<ISM内のファイル>.cer	登録	—
	<ISM内のファイル>.pfx	登録	—
ファイアウォール			
	5986	開放	—
HTTPS			
	リスナー	作成	—
Hyper-Vホスト			
	MACアドレスの範囲	第1-3オクテット:ベンダID(0x00155D)固定 第4オクテット:[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレスの第3オクテット 第5オクテット:[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレスの第4オクテット 第6オクテット:0x00-0xFF	—

設定項目		設定値	変更可否
	ライブマイグレーション		
	パフォーマンスオプション	デフォルト値 [注1] SMB [注2]	—
ローカルユーザーの作成			
	ユーザー名	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー名]*	—
	パスワード	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザーのパスワード]*	—
機能、役割の追加			
	Hyper-Vの管理ツール	インストール	—
	Windows Server バックアップ	インストール	—
	フェイルオーバークラスターの管理	インストール	—
	データセンターブリッジング	インストール[注2][注4]	—
	データ重複除去	インストール[注2]	—
	System Insights	インストール[注2]	—
仮想スイッチの作成			
	仮想スイッチ名	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[業務用仮想スイッチ、または管理用仮想スイッチ]-[仮想スイッチ設定情報]-[仮想スイッチ名]*	—
	チーミング	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[業務用仮想スイッチ、または管理用仮想スイッチ]-[仮想スイッチ設定情報]-[エンベデッドチーミング]*	—
	ロードバランシングアルゴリズム[注2]	HyperVPort	—
VMネットアダプタ - ネットワーク名の設定			
	ネットワーク名	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<管理用ネットワークアダプタ名、ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名、またはライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[アダプタ名]*	—
VMネットワークの設定 - ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク1			
	VLANID	[クラスター詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名>]-[VLAN ID]*	—
	IPアドレス	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名>]-[IPv4アドレス]*	—
	サブネットマスクの長さ	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
	IPアドレスの種類	IPv4	—
	仮想マシンキュー	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[仮想マシンキュー]*	—
	NetAdapterRSS	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[vRSS]*	—
	RDMA	Disabled [注1]	—

設定項目		設定値	変更可否
		Enabled [注2]	
VMネットワークの設定 - ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク2			
	VLANID	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2 名>]-[VLAN ID]*	—
	IPアドレス	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2 名>]-[IPv4アドレス]*	—
	サブネットマスクの長さ	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2 名>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
	IPアドレスの種類	IPv4	—
	仮想マシンキュー	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[仮想マシンキュー]*	—
	NetAdapterRSS	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[vRSS]*	—
	RDMA	Disabled [注1] Enabled [注2]	—
ネットワークの設定			
	IPv6	無効 [注1] 有効 (Prefer IPv4 over IPv6) [注2]	—
ネットワークの設定 - IPv4			
	IPアドレス	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレス	—
	サブネットマスクの長さ	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のサブネットマスク長	—
	IPアドレスの種類	IPv4	—
	デフォルトゲートウェイ	ISMのプロファイルに指定したOS個別情報のネットワークのデフォルトゲートウェイ	—
	IPアドレス	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレス	—
ネットワークの設定 - 優先DNSサーバー			
	DNS名	Mgmt	—
	IPアドレス	ISMのプロファイルに指定したDNSサーバーのIPアドレス	—
	プライマリ DNS サフィックス	register=primary	—
	DNSサーバー設定の検証	validate=no	—
ネットワークの設定 - 代替DNSサーバー			
	DNS名	Mgmt	—
	IPアドレス	[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[セカンダリDNSサーバーIPアドレス]*	—
	順番	index=2	—
	DNSサーバー設定の検証	validate=no	—
ネットワークの設定 - 管理用ポートの仮想マシンキュー			

設定項目		設定値	変更可否
	Enable	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[仮想マシンキュー]*	—
	MaxProcessors	$(X - 1) / M$ [注3]	—
	BaseProcessorNumber	$(1 + ((X - 1) / M) * (N - 1)) * Y$ [注3]	—
	MaxProcessorNumber	$((X - 1) / M) * N * Y$ [注3]	—
ネットワークの設定 - 業務用ポートの仮想マシンキュー			
	Enable	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[仮想マシンキュー]*	—
	MaxProcessors	$(X - 1) / M$ [注3]	—
	BaseProcessorNumber	$(1 + ((X - 1) / M) * (N - 1)) * Y$ [注3]	—
	MaxProcessorNumber	$((X - 1) / M) * N * Y$ [注3]	—
ネットワークの設定 - LANドライバ（共通）			
	仮想マシンキュー	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[仮想マシンキュー]*	—
	SR-IOV	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[SR/IOV]*	—
	QoS(業務用Port)	無効	—
	QoS(管理用Port)	無効[注5] 有効[注4]	—
ネットワークの設定 - LANドライバ（Cavium LANカードの場合のみ）[注2]			
	Network Direct Functionality	Enabled	—
	NetworkDirect Technology	iWARP	—

[注1]:PRIMERGY M4シリーズの場合に設定する設定値です。

[注2]:PRIMERGY M5シリーズの場合に設定する設定値です。

[注3]:各記号は以下の値を表しています。

X:プロセッサコア数

Y:1コア当たりの論理プロセッサ数

M:仮想マシンキューの設定を行う物理ネットワークポートの数

N:仮想マシンキューの設定を行う物理ネットワークポートの連番(1～M)

[注4]:PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのストレージ構成がAll-Flashの場合に設定する設定値です。

[注5]:PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの場合、およびPRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのストレージ構成がHybridの場合に設定する設定値です。

第2章 クラスタ拡張の自動設定値一覧

クラスタ拡張機能の実行により、自動で設定される設定値について説明します。

2.1 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧

PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値について説明します。

以降の表の「変更可否」列の記載は、既存クラスタの設定値をPRIMEFLEX構成の設定値から変更していた場合、クラスタ拡張の実行が可能かどうかを表しています。

表2.1「変更可否」の記載について

変更可否	意味	説明
○	変更可	クラスタ拡張機能に影響しない設定値のため、変更可です。
×	変更不可	クラスタ拡張機能に影響する設定値のため、変更不可です。 変更した場合は、クラスタ拡張機能が正常に動作しません。
—	変更対象外	以下に該当する設定値のため、変更可否の対象外です。 - クラスタ拡張機能により、既存の設定に関わらず記載の値に上書きする設定値 - クラスタ拡張機能により、記載の値でこれから構築する設定値



注意

- 「設定値」の記載について
 - 設定値のうしろに*がある設定値は、「クラスタ拡張」ウィザードで入力した値が設定されます。
 - 「設定値」の一部には、値ではなく設定箇所が記載されているものがあります。実際の値については、該当の設定箇所をご確認ください。

2.1.1 ISM-[管理]-[ノード]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]-[ノードリスト]

設定項目	設定値	変更可否
「編集」ウィザードの[通信方法]		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	○
[プロパティ]タブ		
Web I/F URL	https://<iRMCのIPアドレス>/	○
[ログ収集設定]タブ		
保有期間		
イベントログ(日間)	7	○
操作ログ(日間)	7	○
セキュリティログ(日間)	7	○
保管ログ(世代)	7	○
ログ収集ターゲット		
ハードウェアログ	有効	○
オペレーティングシステムログ	有効	○

設定項目		設定値	変更可否
	スケジュール		
	スケジュール	有効	○
	スケジュールタイプ	曜日指定	○
	曜日	毎週	○
	曜日	土	○
	時間	0:00	○

2.1.2 ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]

設定項目		設定値	変更可否
[OS]タブ			
	インストール後のスクリプト実行		
	インストール後のスクリプト実行	有効	—
	スクリプト格納ディレクトリ	kickstart	—
	実行するスクリプト	ESXi_Setting.sh	—

2.1.3 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSAN構成のADVM

設定項目		設定値	変更可否
[DNSマネージャー]-[<ドメイン名>]			
	前方参照ゾーンへのホストレコード [注1]	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*	×
	逆引き参照ゾーンへのホストレコード [注1]	クラスタ拡張時に追加するサーバーのESXi IPアドレス [注2]	×

[注1]:PRIMEFLEX構成のADVMを使用していないときは登録しません。PRIMEFLEX構成のADVMを使用していないときは、『操作手順書』の「6.7.1.3 DNSへホストレコードを登録する」で登録してください。

[注2]:クラスタ拡張時に追加するサーバーのESXi IPアドレスは、「ノードリスト」画面-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]-[OS]タブ-[基本情報]-[登録IPアドレス]の値が設定されます。

2.1.4 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S4 Web Serverのユーザ管理

設定項目		設定値	変更可否
[iRMC S4 ユーザ管理]-[新規ユーザの構成]			
	名前	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザ設定]-[管理ユーザ]-[ユーザー名]*	○
	パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザ設定]-[管理ユーザ]-[パスワード]*	○
	IPMIユーザ有効	true	×
	LANアクセス権限	OEM	×
	シリアルアクセス権限	OEM	×
	ユーザアカウント変更権限	true	×
	iRMC S4設定変更権限	true	×
	AVR使用権限	true	×

設定項目		設定値	変更可否
	リモートストレージ使用権限	true	×
	使用シェル(Textアクセス)	RemoteManager	×
[iRMC S4 ユーザ管理]-[adminユーザー]			
	パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	×

2.1.5 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S5 Web Server-[設定]-[ユーザー管理]

設定項目		設定値	変更可否
[iRMCローカルユーザアカウント]-[管理ユーザー]			
	ユーザ情報		
	ユーザを有効にする	有効	×
	名前	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[ユーザー名]*	○
	パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[パスワード]*	○
	アクセス設定		
	Redfish/WebUI 権限		
	Redfish/Web UI ユーザを有効にする	有効	×
	Redfishロール	管理者	×
	IPMI 権限		
	LAN チャネル権限	OEM	×
	シリアルアクセス権限	OEM	×
	ユーザアカウント変更を有効にする	有効	×
	iRMC 設定変更を有効にする	有効	×
	AVR 権限		
	ビデオリダイレクションを有効にする	有効	×
	リモートストレージを有効にする	有効	×
	その他		
	使用シェル(Textアクセス)	リモートマネージャ	×
[iRMCローカルユーザアカウント]-[adminユーザー]			
	ユーザ情報		
	パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	×

2.1.6 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S4 Web ServerのLDAP構成設定

設定項目	設定値	変更可否
[ユーザー管理]-[LDAP構成設定] [注]		

設定項目		設定値	変更可否
	LDAPを有効にする	true	○
	LDAP SSL接続を有効にする	false	○
	ローカルユーザーでのログインを禁止する	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ローカルユーザーによるログイン]*	○
	常にSSLログインを使用する	[クラスタ詳細情報]- [LDAP]タブ-[常にTLS/SSLログイン]*	○
	ディレクトリサーバータイプ	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ディレクトリサーバータイプ]*	○
	ドメイン名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ドメイン名]*	○
	Dept. name	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[部署名]*	○
	プライマリ		
	LDAPサーバー	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ホスト名またはIPアドレス]*	○
	LDAPポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ポート番号]*	○
	LDAP SSLポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ TLS/SSLポート番号]*	○
	バックアップ		
	LDAPサーバー	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ホスト名またはIPアドレス]*	○
	LDAPポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ポート番号]*	○
	LDAP SSLポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ TLS/SSLポート番号]*	○

[注]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

2.1.7 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S5 Web ServerのLDAP

設定項目		設定値	変更可否
[ユーザー管理]-[LDAP] [注]			
	LDAPを有効にする	true	○
	LDAP SSL を有効にする	false	○
	ローカルIDでのログイン無効化	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ローカルユーザーによるログイン]*	○
	ディレクトリサーバータイプ	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ディレクトリサーバータイプ]*	○
	ドメイン名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ドメイン名]*	○
	組織名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[部署名]*	○
	プライマリ LDAP サーバー		
	サーバー	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ホスト名またはIPアドレス]*	○
	ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ポート番号]*	○
	SSL ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ TLS/SSLポート番号]*	○
	バックアップ LDAP サーバー		
	サーバー	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ホスト名またはIPアドレス]*	○

設定項目		設定値	変更可否
	ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ポート番号]*	○
	SSL ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ TLS/SSLポート番号]*	○

[注]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

2.1.8 クラスタ拡張時に追加するサーバーのESXiの設定

設定項目		設定値	変更可否
OS			
	VMware ESXi	インストール	—
	ESXiパッチ	ISMにファイルがアップロードされていれば適用する	—
SMI-Sプロバイダ			
	VMware SMIS Provider	ISMにファイルがアップロードされていれば適用する [注1] [注2] — [注1] [注3]	—
ドライバ			
	ixgbeドライバ	有効 [注1]	—
[Host Client]-[管理]-[システム]-[日付と時刻]			
	現在の日付と時刻	UTC (協定世界時)	—
	NTPサーバー	1.[クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPサーバー1ホスト名またはIPアドレス]* 2.[クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPサーバー2ホスト名またはIPアドレス]*	—
[Host Client]-[管理]-[サービス]			
	TSM	起動/停止 [注4]	—
	TSM-SSH	起動/停止 [注4]	—
	lwsmd	起動 [注5]	—
	ntpd	起動	—
[Host Client]-[管理]-[セキュリティとユーザー]			
	ユーザー名	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー名]*	—
	パスワード	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザーのパスワード]*	—
	認証 ドメインに参加 [注6]	有効	—
[Host Client]-[管理]-[ハードウェア]-[電源管理]			
	アクティブなポリシー	高パフォーマンス	—
[Host Client]-[ストレージ]-[データストア]			
	ローカルデータストア名のリネーム	LocalDatastore_<ホスト名> [注7]	—
[Host Client]-[ネットワーク]-[TCP/IPスタック]-[デフォルトのTCP/IPスタック]			
	アドレス	ISMのプロファイルに指定したDNSサーバーのIPアドレス	—

設定項目		設定値	変更可否
		[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[セカンダリDNSサーバーIPアドレス]*	
	ドメインの検索	[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[ドメイン名]*	—
[Host Client]-[ネットワーク]-[ファイアウォール ルール]			
	NTP クライアント	起動	—
[Host Client]-[ホスト]-[アクション]-[権限]-[ユーザーの追加]			
	ロールの設定	Host/virtual machineに関するAdmin権限を追加	—
その他			
	FQDNの設定	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]. [クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[ドメイン名]*	—
	IPv6	無効	—
	既存のVM Networkポートグループ	削除	—
	SSL v3	有効	—
	tos maxdist[注8]	[クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPピアとの最大間隔]*	—

[注1]:PRIMEFLEX for VMware vSANの場合に設定する設定値です。

[注2]:VMware ESXi 6.5.0.5310538の場合に設定する設定値です。

[注3]:VMware ESXi 6.5 Update 1の場合に設定する設定値です。

[注4]:クラスタ拡張の実行中は起動に設定します。

[注5]:クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は起動されません。

[注6]:クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

[注7]:datastore1からリネームされます。＜ホスト名＞は「ノードリスト」画面-＜クラスタ拡張時に追加するノード名＞-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

[注8]:/etc/ntp.confファイルの「tos maxdist」に設定する設定値です。

2.1.9 クラスタvCSAの設定

クラスタvCSAの設定は、クラスタvCSAの[ストレージへのディスクの追加]の設定が「手動」の場合に設定します。

設定項目		設定値	変更可否
ディスク管理			
	ディスクグループ[注]		
	ディスクグループ数	1	×
	キャッシュ	SSD	×
	容量	HDD	×

[注]:クラスタ拡張時に追加するホストごとに指定します。

2.1.10 PRIMERGY RXシリーズ構成の既存クラスタvCSAのクラスタ拡張時に追加するホストに対する設定

設定項目		設定値	変更可否
Virtual Standard Switch (vSS:標準仮想スイッチ)-vSwitch0(ビルトイン仮想スイッチ)			
	vSwitch0	削除	×

設定項目		設定値	変更可否
	すべてのvnic	削除	×
	Management Network	削除	×
Virtual Distribution Switch (vDS: 分散仮想スイッチ)-業務用仮想スイッチ			
	管理トラフィック	—	—
	VLANID	—	—
	MTU	—	—
	管理IPアドレス	—	—
	サブネットマスク	—	—
	フェイルバック	—	—
	uplink1	—	—
	uplink2	—	—
	vmk0	—	—
Virtual Distribution Switch (vDS: 分散仮想スイッチ)-管理用仮想スイッチ			
	管理トラフィック	チェック	—
	VLANID	0	—
	MTU	1500	—
	管理IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—
	サブネットマスク	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
	フェイルバック	True	—
	uplink1	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vnic名<vnic0>]* [注1][注2] [ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vnic名<vnic2>]* [注2][注3]	×
	uplink2	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vnic名<vnic2>]* [注1][注2] [ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vnic名<vnic4>]* [注2][注3]	×
	vmk0	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	×
	vmk1	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	×
	vmk2	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	×
	vSANネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	○
	vSANネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	○

設定項目		設定値	変更可否
	vMotionネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	○
	vMotionネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	○
	[ネットワーク]-[Distributed Switch]-[<管理用仮想スイッチ>]-[設定]-[システムトラフィック]-[管理トラフィック]		
	シェア値	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[NIOC設定]-[管理]-[シェア]*	○
	予約	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[NIOC設定]-[管理]-[予約]*	○
ディスク			
	ハードディスク ローカルとしてマーク	true	—
	SSD キャッシュ用以外のSSDをキャパシティとしてマーク (All Flash構成時)	True [注4]	—
データセンター			
	クラスタ拡張時に追加するホストを仮想ネットワークへ追加	—	—
	クラスタ拡張時に追加するホストをデータセンターへ追加	[クラスタ基本情報]-[データセンター名]*	○
クラスタ			
	フォールトドメインおよびストレッチクラスタ	fd_<ホスト名> [注5]	—
	クラスタ拡張時に追加するノードをクラスタへ追加	選択したクラスタ名	○

[注1]:PRIMEFLEX HSの場合に設定する設定値です。

[注2]:PRIMERGY RX4770 M5の場合、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

[注3]:PRIMEFLEX for VMware vSANの場合に設定する設定値です。

[注4]:以下の条件にあてはまるSSDはキャッシュ用のSSDとして設定されます。

PRIMEFLEX HS:容量が160～210GB、320～420GB

PRIMEFLEX for VMware vSAN:2種類のSSDのうち、本数が少ない方(SSDの本数が同じとき、容量の小さい方)

[注5]:<ホスト名>は「ノードリスト」画面-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

2.1.11 PRIMERGY CXシリーズ構成の既存クラスタvCSAのクラスタ拡張時に追加するホストに対する設定

設定項目		設定値	変更可否
Virtual Standard Switch (vSS:標準仮想スイッチ)-vSwitch0(ビルトイン仮想スイッチ)			
	vSwitch0	— [注1] 削除 [注2]	×
	すべてのvmnic	— [注1]	×

設定項目		設定値	変更可否
		削除 [注2]	
	Management Network	－ [注1]	×
		削除 [注2]	
Virtual Distribution Switch (vDS:分散仮想スイッチ)-業務用仮想スイッチ			
	管理トラフィック	チェック [注1] － [注2]	－
	VLANID	0 [注1] － [注2]	－
	MTU	1500 [注1] － [注2]	－
	管理IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]* [注1] － [注2]	－
	サブネットマスク	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]* [注1] － [注2]	－
	フェイルバック	True [注1] － [注2]	－
	uplink1	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vmnic名<vmnic0>]* [注1] － [注2]	×
	uplink2	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vmnic名<vmnic1>]* [注1] － [注2]	×
	vmk0	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]* [注1] [注3] － [注2]	×
	Virtual Distribution Switch (vDS:分散仮想スイッチ)-管理用仮想スイッチ		
	管理トラフィック	－ [注1] チェック [注2]	－
	VLANID	－ [注1] 0 [注2]	－
	MTU	－ [注1] 1500 [注2]	－
	管理IPアドレス	－ [注1] [ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]* [注2]	－
	サブネットマスク	－ [注1] [ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]* [注2]	－

設定項目		設定値	変更可否
	フェイルバック	－[注1] True [注2]	－
	uplink1	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC＜uplink1＞]-[vmnic名＜vmnic2＞]* [注1] [ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC＜uplink1＞]-[vmnic名＜vmnic1＞]* [注2]	×
	uplink2	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC＜uplink2＞]-[vmnic名＜vmnic3＞]* [注1] [ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC＜uplink2＞]-[vmnic名＜vmnic3＞]* [注2]	×
	vmk0	－ [注1] [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ＜管理用ネットワークポートグループ＞]-[ポートグループ名]* [注2]	×
	vmk1	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ＜vSAN用ネットワークポートグループ＞]-[ポートグループ名]*	×
	vmk2	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ＜vMotion用ネットワークポートグループ＞]-[ポートグループ名]*	×
	vSANネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ＜vSAN用ネットワークポートグループ＞]-[IPv4アドレス]*	○
	vSANネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ＜vSAN用ネットワークポートグループ＞]-[IPv4サブネットマスク]*	○
	vMotionネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ＜vMotion用ネットワークポートグループ＞]-[IPv4アドレス]*	○
	vMotionネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ＜vMotion用ネットワークポートグループ＞]-[IPv4サブネットマスク]*	○
	[ネットワーク]-[Distributed Switch]-[＜管理用仮想スイッチ＞]-[設定]-[システムトラフィック]-[管理トラフィック]		
	シェア値	－ [注1] [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[NIOC設定]-[管理]-[シェア]* [注2]	○
	予約	－ [注1] [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[NIOC設定]-[管理]-[予約]* [注2]	○
ディスク			
	ハードディスク ローカルとしてマーク	true	－
	SSD キャッシュ用以外のSSDをキャパシティとしてマーク (All Flash構成時)	True [注4]	－
データセンター			

設定項目		設定値	変更可否
	クラスタ拡張時に追加するホストを仮想ネットワークへ追加	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[vDS名]* [注1] ー [注2]	ー
	クラスタ拡張時に追加するホストをデータセンターへ追加	[クラスタ基本情報]-[データセンター名]*	○
クラスタ			
	フォールトドメインおよびストレッチクラスタ	fd_<ホスト名> [注5]	ー
	クラスタ拡張時に追加するノードをクラスタへ追加	選択したクラスタ名	○

[注1]:PRIMEFLEX HSの場合に設定する設定値です。

[注2]:PRIMEFLEX for VMware vSANの場合に設定する設定値です。

[注3]:vSSからvDSへ移行されます。

[注4]:以下の条件にあてはまるSSDはキャッシュ用のSSDとして設定されます。

PRIMEFLEX HS:容量が160～210GB、320～420GB

PRIMEFLEX for VMware vSAN:2種類のSSDのうち、本数が少ない方(SSDの本数が同じとき、容量の小さい方)

[注5]:<ホスト名>は「ノードリスト」画面-<クラスタ拡張時に追加するノード名>-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

表2.2 vmnic名、アップリンク名の自動設定値

設定項目	設定値	
	既存クラスタにPRIMERGY CX M2シリーズを含まない場合	既存クラスタにPRIMERGY CX M2シリーズを含む場合
vmnic名	PRIMEFLEX HSの場合 • vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) - 業務系ポート#1:vmnic1 - 業務系ポート#2:vmnic3[注1] • vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) - ー 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic0 Standby:vmnic2[注1] - ー vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic0 Standby:vmnic2[注1] - ー vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic2[注1] Standby:vmnic0 PRIMEFLEX for VMware vSANの場合[注2] [PRIMERGY RX M4シリーズ/PRIMERGY RX M5シリーズ] • vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) - 業務系ポート#1:vmnic1[注3] - 業務系ポート#2:vmnic3[注1][注3] • vDS-2(管理用分散仮想スイッチ)	PRIMEFLEX HSの場合 [PRIMERGY CX M2シリーズ] • vDS-1(管理用分散仮想スイッチ) - ー 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic0 Active:vmnic1 • vDS-2(管理兼業務用分散仮想スイッチ) - ー vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic2 Standby:vmnic3 - ー vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic3 Standby:vmnic2 [PRIMERGY CX M4シリーズ/PRIMERGY CX M5シリーズ] • vDS-1(管理用分散仮想スイッチ) - ー 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic1 Active:vmnic2 • vDS-2(管理兼業務用分散仮想スイッチ)

設定項目	設定値	
	既存クラスタにPRIMERGY CX M2シリーズを 含まない場合	既存クラスタにPRIMERGY CX M2シリーズを含む場合
	— 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic2[注3] Standby:vmnic4[注1][注3] — vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic2[注3] Standby:vmnic4[注1][注3] — vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic4[注1][注3] Standby:vmnic2[注3] [PRIMERGY CX M4シリーズ/PRIMERGY CX M5 シリーズ] • vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) 業務系ポート#1:vmnic2 業務系ポート#2:vmnic4[注1] • vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) — 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic1 Standby:vmnic3 — vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic1 Standby:vmnic3 — vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic3 Standby:vmnic1	— vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic3 Standby:vmnic4 — vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic3 Standby:vmnic4
アップリンク名	PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSAN の場合 • vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) 業務系ポート#1:Uplink2 業務系ポート#2:Uplink4 • vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) — 管理用ネットワークポートグループ Active:Uplink1 Standby:Uplink3 — vMotion用ネットワークポートグループ Active:Uplink1 Standby:Uplink3 — vSAN用ネットワークポートグループ Active:Uplink3 Standby:Uplink1	PRIMEFLEX HSの場合 • vDS-1(管理用分散仮想スイッチ) — 管理用ネットワークポートグループ Active:Uplink1 Active:Uplink2 • vDS-2(管理兼業務用分散仮想スイッチ) — vMotion用ネットワークポートグループ Active:Uplink3 Standby:Uplink4 — vSAN用ネットワークポートグループ Active:Uplink4 Standby:Uplink3

[注1]: 拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

[注2]: PRIMEFLEX HSにPRIMERGY M4シリーズ/PRIMERGY RX M5シリーズを追加する場合も同様です。

[注3]: PRIMERGY RX4770 M5の場合、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

2.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct/PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIの自動設定値一覧

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct/PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIの自動設定値について説明します。

以降の表の「変更可否」列の記載は、既存クラスタの設定値をPRIMEFLEX構成の設定値から変更していた場合、クラスタ拡張の実行が可能かどうかを表しています。

表2.3「変更可否」の記載について

変更可否	意味	説明
○	変更可	クラスタ拡張機能に影響しない設定値のため、変更可です。
×	変更不可	クラスタ拡張機能に影響する設定値のため、変更不可です。 変更した場合は、クラスタ拡張機能が正常に動作しません。
—	変更対象外	以下に該当する設定値のため、変更可否の対象外です。 ・ クラスタ拡張機能により、既存の設定に関わらず記載の値に上書きする設定値 ・ クラスタ拡張機能により、記載の値でこれから構築する設定値



「設定値」の記載について

- ・ 設定値のうしろに*がある設定値は、「クラスタ拡張」ウィザードで入力した値が設定されます。
- ・ 「設定値」の一部には、値ではなく設定箇所が記載されているものがあります。実際の値については、該当の設定箇所をご確認ください。

2.2.1 ISM-[管理]-[ノード]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]-[ノードリスト]

設定項目	設定値	変更可否
「編集」ウィザードの[通信方法]		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	○
[プロパティ]タブ		
Web I/F URL	https://<iRMCのIPアドレス>/	○
[OS]タブ		
アカウント	pflocaladmin	○
[ログ収集設定]タブ		
保有期間		
イベントログ(日間)	7	○
操作ログ(日間)	7	○
セキュリティログ(日間)	7	○
保管ログ(世代)	7	○
ログ収集ターゲット		
ハードウェアログ	無効 [注1] 有効 [注2]	○
オペレーティングシステムログ	有効	○
ServerView Suiteログ	有効 [注2]	○

設定項目		設定値	変更可否
	スケジュール		
	スケジュール	有効	○
	スケジュールタイプ	曜日指定	○
	曜日	毎週	○
	曜日	土	○
	時間	0:00	○

[注1]:PRIMERGY M4シリーズの場合に設定する設定値です。

[注2]:PRIMERGY M5シリーズの場合に設定する設定値です。

2.2.2 ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[＜クラスタ拡張時に追加するノード名＞]

設定項目		設定値	変更可否
[OS]タブ			
	インストール後のスクリプト実行		
	インストール後のスクリプト実行	有効	—
	OSに転送するディレクトリ	postscript_ClusterOperation	—
	実行するスクリプト	WinSvr_Setting.bat	—

2.2.3 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S5 Web Server-[設定]-[ユーザー管理]

設定項目		設定値	変更可否
[iRMCローカルユーザアカウント]-[管理ユーザー]			
	ユーザ情報		
	ユーザを有効にする	有効	×
	名前	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[ユーザー名]*	○
	パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[パスワード]*	○
	アクセス設定		
	Redfish/WebUI 権限		
	Redfish / Web UI ユーザを有効にする	有効	×
	Redfish ロール	管理者	×
	IPMI 権限		
	LAN チャネル権限	OEM	×
	シリアルアクセス権限	OEM	×
	ユーザアカウント変更を有効にする	有効	×
	iRMC 設定変更を有効にする	有効	×
	AVR 権限		

設定項目			設定値	変更可否
		ビデオリダイレクションを有効にする	有効	×
		リモートストレージを有効にする	有効	×
	その他			
		使用シェル(Textアクセス)	リモートマネージャー	×
[iRMCローカルユーザアカウント]-[adminユーザー]				
	ユーザ情報			
		パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	×

2.2.4 クラスタ拡張時に追加するサーバーのiRMC S5 Web ServerのLDAP

設定項目			設定値	変更可否
[ユーザー管理]-[LDAP] [注]				
	LDAPを有効にする		true	○
	LDAP SSL を有効にする		false	○
	ローカルIDでのログイン無効化		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ローカルユーザーによるログイン]*	○
	ディレクトリサーバータイプ		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ディレクトリサーバータイプ]*	○
	ドメイン名		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ドメイン名]*	○
	組織名		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[部署名]*	○
	プライマリ LDAP サーバー			
		サーバー	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ホスト名またはIPアドレス]*	○
		ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ポート番号]*	○
		SSL ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ TLS/SSLポート番号]*	○
	バックアップ LDAP サーバー			
		サーバー	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ホスト名またはIPアドレス]*	○
		ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ポート番号]*	○
		SSL ネットワークポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ TLS/SSLポート番号]*	○

[注]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

2.2.5 クラスタ拡張時に追加するサーバーのWindows Serverの設定

設定項目		設定値	変更可否
WinRM			
	ベーシック認証	true	—
サービスの有効化			
	CredSSP	有効	—
CredSSP			

設定項目		設定値	変更可否
	サーバーロール	有効	—
	クライアントロール	有効	—
証明書			
	<ISM内のファイル>.cer	登録	—
	<ISM内のファイル>.pfx	登録	—
ファイアウォール			
	5986	開放	—
HTTPS			
	リスナー	作成	—
Hyper-Vホスト			
	MACアドレスの範囲	第1-3オクテット:ベンダID(0x00155D)固定 第4オクテット:[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]* のIPv4のIPアドレスの第3オクテット 第5オクテット:[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]* のIPv4のIPアドレスの第4オクテット 第6オクテット:0x00-0xFF	—
	ライブマイグレーション		
	パフォーマンスオプション	デフォルト値 [注1] SMB [注2]	—
ローカルユーザーの作成			
	ユーザー名	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー名]*	—
	パスワード	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザーのパスワード]*	—
機能、役割の追加			
	Hyper-Vの管理ツール	インストール	—
	Windows Server バックアップ	インストール	—
	フェイルオーバークラスターの管理	インストール	—
	データセンタブリッジング	インストール[注2][注4]	—
	データ重複除去	インストール[注2]	—
	System Insights	インストール[注2]	—
仮想スイッチの作成			
	仮想スイッチ名	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[業務用仮想スイッチ、または管理用仮想スイッチ]-[仮想スイッチ設定情報]-[仮想スイッチ名]*	×
	チーミング	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[業務用仮想スイッチ、または管理用仮想スイッチ]-[仮想スイッチ設定情報]-[エンベデッドチーミング]*	×
	ロードバランサルゴリズム[注2]	HyperVPort	—
VMネットアダプタ - ネットワーク名の設定			
	ネットワーク名	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<管理用ネットワークアダプタ名、ライブ	×

設定項目		設定値	変更可否
		マイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名、またはライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[アダプタ名]*	
VMネットワークの設定 - ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク1			
	VLANID	クラスタを構成する既設サーバーのライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク1に設定されているVLAN ID	○
	IPアドレス	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名>]-[IPv4アドレス]*	○
	サブネットマスクの長さ	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名>]-[IPv4サブネットマスク]*	○
	IPアドレスの種類	IPv4	○
	仮想マシンキュー	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[仮想マシンキュー]*	○
	NetAdapterRSS	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[vRSS]*	○
	RDMA	Disabled [注1] Enabled [注2]	○
VMネットワークの設定 - ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク2			
	VLANID	クラスタを構成する既設サーバーのライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク2に設定されているVLAN ID	○
	IPアドレス	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[IPv4アドレス]*	○
	サブネットマスクの長さ	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[IPv4サブネットマスク]*	○
	IPアドレスの種類	IPv4	○
	仮想マシンキュー	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[仮想マシンキュー]*	○
	NetAdapterRSS	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[vRSS]*	○
	RDMA	Disabled [注1] Enabled [注2]	○
ネットワークの設定			
	IPv6	無効 [注1] 有効 (Prefer IPv4 over IPv6) [注2]	—
ネットワークの設定 - IPv4			
	IPアドレス	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレス	○
	サブネットマスクの長さ	[ノード詳細情報]-[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のサブネットマスク長	○

設定項目		設定値	変更可否
	IPアドレスの種類	IPv4	○
	デフォルトゲートウェイ	ISMのプロファイルに指定したOS個別情報のネットワークのデフォルトゲートウェイ	○
	IPアドレス	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレス	○
ネットワークの設定 - 優先DNSサーバー			
	DNS名	Mgmt	×
	IPアドレス	ISMのプロファイルに指定したDNSサーバーのIPアドレス	○
	プライマリ DNS サフィックス	register=primary	—
	DNSサーバー設定の検証	validate=no	—
ネットワークの設定 - 代替DNSサーバー			
	DNS名	Mgmt	×
	IPアドレス	[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[セカンダリDNSサーバーIPアドレス]*	○
	順番	index=2	—
	DNSサーバー設定の検証	validate=no	—
ネットワークの設定 - 管理用ポートの仮想マシンキュー			
	Enable	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[仮想マシンキュー]*	—
	MaxProcessors	$(X - 1) / M$ [注3]	—
	BaseProcessorNumber	$(1 + ((X - 1) / M) * (N - 1)) * Y$ [注3]	—
	MaxProcessorNumber	$((X - 1) / M) * N * Y$ [注3]	—
ネットワークの設定 - 業務用ポートの仮想マシンキュー			
	Enable	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[仮想マシンキュー]*	—
	MaxProcessors	$(X - 1) / M$ [注3]	—
	BaseProcessorNumber	$(1 + ((X - 1) / M) * (N - 1)) * Y$ [注3]	—
	MaxProcessorNumber	$((X - 1) / M) * N * Y$ [注3]	—
ネットワークの設定 - LANドライバー (共通)			
	仮想マシンキュー	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[仮想マシンキュー]*	—
	SR-IOV	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[SR/IOV]*	—
	QoS(業務用Port)	無効	—
	QoS(管理用Port)	無効[注5] 有効[注4]	—
ネットワークの設定 - LANドライバー (Cavium LANカードの場合のみ)[注2]			
	Network Direct Functionality	Enabled	—
	NetworkDirect Technology	iWARP	—

[注1]:PRIMERGY M4シリーズの場合に設定する設定値です。

[注2]:PRIMERGY M5シリーズの場合に設定する設定値です。

[注3]:各記号は以下の値を表しています。

X:プロセッサコア数

Y:1コア当たりの論理プロセッサ数

M:仮想マシンキューの設定を行う物理ネットワークポートの数

N:仮想マシンキューの設定を行う物理ネットワークポートの連番(1～M)

[注4]:PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのストレージ構成がAll-Flashの場合に設定する設定値です。

[注5]:PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの場合、およびPRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのストレージ構成がHybridの場合に設定する設定値です。

第3章 クラスタ定義パラメーターの設定値一覧

クラスタ作成機能およびクラスタ拡張機能を実行する際に使用するクラスタ定義パラメーターの設定値について説明します。

ポイント

CMSとはクラウドマネージメントソフトウェアの略称です。

3.1 PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)

PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ作成機能のクラスタ定義パラメーター設定値について説明します。

注意

- PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ作成機能をご利用の場合は、下記のクラスタ定義パラメーター設定値を「クラスタ作成」ウィザードで設定してください。
- クラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートを使用した場合は、クラスタ定義パラメーターの編集でお客様環境に応じて適切に設定してください。

3.1.1 CMS情報

CMS情報は、クラスタ定義パラメーターを作成する場合に設定する項目です。このパラメーターは、クラスタ定義パラメーターを編集する場合には表示されません。

設定項目	説明	設定値
種類	クラスタの種類 ・ VMware vSAN Cluster ・ Microsoft Failover Cluster	VMware vSAN Cluster
仮想化管理ソフトウェア名	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値

3.1.2 クラスタ基本情報

設定項目	説明	設定値
仮想化管理ソフトウェア名[注]	仮想化管理ソフトウェア名	[CMS情報]-[仮想化管理ソフトウェア名]で指定した設定値
種類[注]	クラスタの種類	VMware vSAN Cluster [CMS情報]-[種類]で指定した設定値
データセンター名	クラスタが属するデータセンター名	クラスタが属するデータセンター名
クラスタ名	クラスタの名称	クラスタ作成するクラスタ名
ストレージ構成	ストレージ構成 ・ Hybrid ・ All Flash 初期値: Hybrid	HybridまたはAll Flash
ネットワーク構成	ネットワーク構成のタイプ	タイプI

設定項目	説明	設定値
	・ タイプI	

[注]:このパラメーターは指定できません。

3.1.3 クラスタ詳細情報 - [DNS]タブ

設定項目	説明	設定値
ドメイン名	DNSのドメイン名	DNSのドメイン名 [注1]
セカンダリDNSサーバーIPアドレス	セカンダリDNSサーバーのIPアドレス [注2]	- お客様環境の既存AD構成時: お客様AD2のIPアドレス - PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSAN専用ADVM構成時: ADVM2のIPアドレス
DNSレコード登録の設定を有効にする [注3]	新規クラスタを構成するサーバーのホスト (A/PTR)レコードをDNSへ自動で登録するかどうかを指定します。 「有効」に設定した場合に自動で登録を行います。 - 有効 - 無効 初期値:無効	- お客様環境の既存AD構成時、またはADなし構成時: 無効 - PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSAN専用ADVM構成時: 有効
WinRMサービスポート番号 [注3]	DNSサーバーのWinRMサービスの通信方式とポート番号を指定します。 - 通信方式 - HTTPS - HTTP 初期値:HTTPS - ポート番号 - HTTPSの場合 DNSサーバーのWinRMサービス (SSL) のポート番号 本項目を指定した場合は、DNSサーバーと暗号 (SSL) 通信します。 事前にDNSサーバーにTLS/SSL通信用証明書を登録しておく必要があります。 初期値:5986 - HTTPの場合 DNSサーバーのWinRMサービス (non SSL) のポート番号 DNSサーバーと平文で通信する場合に指定します。 初期値:5985	- 通信方式 HTTPSまたはHTTP - ポート番号 - HTTPSの場合:5986 - HTTPの場合:5985
ユーザー名 [注3]	DNSサーバーへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード [注3][注4]	DNSサーバーへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード

設定項目	説明	設定値
パスワード(確認) [注3][注4]	DNSサーバーへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード

[注1]:ドメイン名は、UPN (User Principal Name) 形式で指定してください。

[注2]:プライマリDNSサーバーのIPアドレスは、ISMのプロファイルに指定します。

[注3]:DNSサーバーがWindows Serverの場合のみ有効です。PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバーを使用したActive Directory連携を行わない場合は、[DNSレコード登録]に「無効」を指定してください。また、[WinRMサービスポート番号]、[WinRMサービス(SSL)ポート番号]、[ユーザー名]、[パスワード]は、指定不要です。

[注4]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.1.4 クラスタ詳細情報 - [NTP]タブ

設定項目	説明	設定値
NTPサーバー1ホスト名またはIPアドレス	NTPサーバー1のホスト名、またはIPアドレス	NTPサーバー1のホスト名、またはIPアドレス
NTPサーバー2ホスト名またはIPアドレス	NTPサーバー2のホスト名、またはIPアドレス	NTPサーバー2のホスト名、またはIPアドレス
NTPピアとの最大間隔	NTPタイムソース選定におけるピアとの最大間隔(秒) 初期値:30(秒)	30

3.1.5 クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ

クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブは、PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバーを使用したActive Directory連携を行わない場合は、指定不要です ([LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外してください)。

設定項目	説明	設定値
LDAP設定を有効にする[注1]	LDAPの設定を有効にするかどうかを指定します。 ☒ :有効 ☐ :無効 初期値:無効	任意の値
ドメイン名	LDAPサーバーのドメイン名	LDAPのドメイン名 [注2]
ユーザー名	LDAPサーバーへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード[注3]	LDAPサーバーへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード
パスワード(確認)[注3]	LDAPサーバーへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード
ディレクトリサーバータイプ	ディレクトリサーバーのタイプ • Active Directory	Active Directory
プライマリ ホスト名またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス
プライマリ ポート番号	プライマリLDAPサーバーのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号	389

設定項目	説明	設定値
	初期値: 389	
プライマリ TLS/SSLポート番号	プライマリLDAPサーバーのLDAPサービス (TLS/SSL) のポート番号 初期値: 636	636
バックアップ ホスト名またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス
バックアップ ポート番号	バックアップLDAPサーバーのLDAPサービス (non TLS/SSL) のポート番号 初期値: 389	389
バックアップ TLS/SSLポート番号	バックアップLDAPサーバーのLDAPサービス (TLS/SSL) のポート番号 初期値: 636	636
部署名	LDAPの部署名	PF_Dept_1
ローカルユーザーによるログイン	ローカルユーザーによるログインを有効にするかどうかを指定します。 - 有効 - 無効 初期値: 無効	有効
常にTLS/SSLログイン	常にTLS/SSLによるログインを使用するかどうかを指定します。 - する - しない 初期値: しない	しない

[注1]: このパラメーターはActive Directory連携を行わない場合は、指定不要です ([LDAP] タブの [LDAP設定を有効にする] のチェックを外してください)。 [LDAP設定を有効にする] のチェックを付けた場合は、iRM CとESXiに対してLDAP設定をします。

[注2]: ドメイン名は、UPN (User Principal Name) 形式で指定してください。

[注3]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.1.6 クラスタ詳細情報 - [機能] タブ

設定項目	説明	設定値
vSphere HA設定		
隔離時の応答アドレス1	隔離時の応答アドレス (IPアドレス) 1 注) 通常はクラスタを構成する1ノード目のVirtual SAN NetworkのIPアドレスを指定します。	隔離時の応答アドレス1
隔離時の応答アドレス2	隔離時の応答アドレス (IPアドレス) 2 注) 通常はクラスタを構成する2ノード目のVirtual SAN NetworkのIPアドレスを指定します。	隔離時の応答アドレス2
vSAN設定		

設定項目	説明	設定値
ストレージへのディスクの追加	ストレージへのディスクの追加を自動にするかどうかを指定します。 ・ 手動	手動
デデュープおよび圧縮	デデュープおよび圧縮を有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 無効	無効 [注1] 任意の値 [注2]

[注1]: ストレージ構成がHybridの場合に指定します。

[注2]: ストレージ構成がAll-Flashの場合に指定します。

3.1.7 クラスタ詳細情報 - [ネットワーク]タブ

設定項目	説明	設定値
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPv4アドレス	任意の値
vSAN分散仮想スイッチ設定情報		
vDS-1およびvDS-2		
vDS名 [注1]	vDS (vSphere Distributed Switch) の名前 ・ 業務用分散仮想スイッチ名 ・ 管理用分散仮想スイッチ名 ※vDS設定情報リストは2つ	任意の値
NIOC	NIOCを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	vDS-1: 無効 (指定できません) vDS-2: 有効または無効
NIOC設定 (複数指定可能) [注2]		
トラフィック [注3]	システムトラフィックタイプ ・ 管理 ・ vSAN ・ vMotion	管理、vSAN、vMotion
シェア	システムトラフィックタイプの相対的な優先度 1～100 初期値: 30 (管理)、100 (vSAN)、70 (vMotion)	任意の値
予約 [注4]	単一の物理アダプタ上で確保する必要のある最小バンド幅 (Mbps) 初期値: 500 (管理)、1000 (vSAN)、500 (vMotion)	任意の値
制限 [注4]	単一物理アダプタでシステムトラフィックタイプが使用できる最大バンド幅 (Mbps) 初期値: 0	任意の値

設定項目		説明	設定値
	MTU	最大転送ユニット(MTU)のサイズ(バイト数) 初期値:1500 最大値:9000	任意の値
	ポートグループ(複数指定可能)		
	ポートグループ名 [注5]	vDSポートグループの名前(ネットワークラベル)	任意の値
	タイプ	vDSポートグループのタイプ • VMkernel • 仮想マシン	vDS-1 • 業務用仮想マシンポートグループ: 仮想マシン vDS-2 • 管理用ネットワークポートグループ: VMkernel • vSAN用ネットワークポートグループ: VMkernel • vMotion用ネットワークポートグループ: VMkernel • 管理用仮想マシンポートグループ: 仮想マシン
	ポート数	分散ポートグループのポート数 初期値:8 最大値:8192	任意の値
	VLANタイプ	VLANのタイプ • なし(VLANを使用しない) • VLAN 初期値: VLAN	任意の値
	VLAN ID	vDSポートグループで使用するVLAN ID 初期値: 設定しない	任意の値
	IPv4ネットワークアドレス	VMkernelアダプタのIPv4ネットワークアドレス	任意の値
	IPv4サブネットマスク	VMkernelアダプタのIPv4サブネットマスク	任意の値
	トラフィック	トラフィック • 管理 • vSAN • vMotion	vDS-1 • — vDS-2 • 管理用ネットワークポートグループ: 管理 • vSAN用ネットワークポートグループ: vSAN • vMotion用ネットワークポートグループ: vMotion
	アップリンク設定(複数指定可能)		
	アップリンク名	アップリンクの識別名	「クラスタ作成する際のvmnic名とアップリンク名の設定値」参照

設定項目				説明	設定値
				• Uplink 1 • Uplink 2 • Uplink 3 • Uplink 4	
			フェイルオーバーの優先順序設定[注6]		
			分散方法	アップリンクのワークロードの分散方法 • アクティブ • スタンバイ	任意の値
			優先順序	アップリンクの優先順序を0から始まる整数で指定します。	任意の値

[注1]: 既存クラスタと同じ[vDS名]を指定した場合、既存クラスタに設定します。既存クラスタと同じ[vDS名]はPRIMEFLEX for VMware vSANで作成したvDSを指定してください。既存クラスタと異なる[vDS名]を指定した場合、新規のvDSが作成されます。

[注2]: [NIOC]を[有効]に指定した場合、[設定]ボタンを選択すると、[トラフィック]、[シェア]、[予約]、[制限]の指定が可能です。

[注3]: このパラメーターは指定できません。

[注4]: [制限]に指定する値は、[予約]に指定した値以上を指定してください。

[注5]: 既存クラスタと同じ[vDS名]の[ポートグループ名]を指定した場合、既存クラスタの[ポートグループ名]に設定します。既存クラスタがPRIMEFLEX HS構成の場合は、既存クラスタと同じ[vDS名]でも既存クラスタと異なる[ポートグループ名]を指定してください。

- 既存のvDSを使用時

既存クラスタと同じ[ポートグループ名]を指定した場合、既存vDSのポートグループが使用されます。
 既存クラスタと異なる[ポートグループ名]を指定した場合、新規のポートグループが作成されます。

- 新規のvDS作成時

新規のポートグループが作成されます。既存クラスタと重複しない[ポートグループ名]を指定してください。

[注6]: [ポートグループ名]を指定した場合、[設定]ボタンを選択すると、[分散方法]、[優先順序]の指定が可能です。

3.1.8 クラスタ詳細情報 - [ストレージプール]タブ

設定項目	説明	設定値
ストレージプール名	vSANデータストア名	任意の値 [注]

[注]: 既存クラスタのストレージプール名と重複しない値を指定してください。

3.1.9 構成ノード選択

設定項目	説明	設定値
対象ノードの選択 (複数指定可能)		
ノード名	ISMが管理するノード名から選択します。	ISMが管理するノード名 [注]
プロファイル	ISMが管理するプロファイル名を選択します。	任意の値

[注]: 新規クラスタを構成するサーバーのノード名を指定します。

選択可能な対象サーバーの機種については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』を参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/>

3.1.10 ノード詳細情報 - [iRMC]タブ

ノード詳細情報 - [iRMC]タブは、選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目		説明	設定値
ローカルユーザー設定			
	adminユーザー		
	パスワード[注]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード クラスタ作成時にISMに登録されているadminユーザーのパスワードを併せて更新します。	任意の値
	パスワード(確認)[注]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード(確認)	任意の値
	管理ユーザー		
	ユーザー名	iRMCに作成する管理ユーザー名	pflocaladmin
	パスワード[注]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
	パスワード(確認)[注]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード(確認)	任意の値

[注]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.1.11 ノード詳細情報 - [OS]タブ

ノード詳細情報 - [OS]タブは、選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目		説明	設定値
ローカルユーザー設定			
	管理ユーザー名	OSに作成する管理ユーザー名	任意の値 例) pflocaladmin
	管理ユーザーのパスワード[注]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
	管理ユーザーのパスワード(確認)[注]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値(確認)

[注]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

シャープ (#)を含むパスワードは指定できません。シャープ (#)を含むパスワードを指定した場合、プロファイル適用で失敗します。

3.1.12 ノード詳細情報 - [vDS]タブ

ノード詳細情報-[vDS]タブは、選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目		説明	設定値
vDS-1およびvDS-2			
	物理NIC(複数指定可能)		
	vmnic名 [注1]	物理ネットワークアダプタの名前 例) vmnic2	「クラスタ作成する際のvmnic名とアップリンク名の設定値」参照

設定項目		説明	設定値
		※"vmnic"で始まる数字のみ指定します。	
	アップリンク名[注2]	アップリンクの識別名 • Uplink 1 • Uplink 2 • Uplink 3 • Uplink 4	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[アップリンク名]で指定した設定値
ポートグループ (複数指定可能)			
	ポートグループ名[注2]	vDSポートグループの名前(ネットワークラベル)	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[ポートグループ名]で指定した設定値
	タイプ[注2]	vDSポートグループのタイプ • VMkernel • 仮想マシン	vDS-1 • 業務用仮想マシンポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[ポートグループ<業務用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 vDS-2 • 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 • vSAN用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 • vMotion用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポート>]-[タイプ]で指定した設定値 • 管理用仮想マシンポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値
	トラフィック[注2]	トラフィック • 管理 • vSAN	vDS-1 • — vDS-2

設定項目		説明	設定値
		vMotion	- 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 - vSAN用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 - vMotion用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値
	IPv4アドレス [注3]	VMkernelアダプタのIPv4アドレス	任意の値

[注1]: プロファイル設定値 ([詳細]-[OS]タブの[管理LANネットワークポート設定]-[ネットワークポート指定]) に指定した物理NICを先頭に指定してください。

[注2]: このパラメーターは指定できません。

[注3]: 管理用ネットワークポートグループのIPv4アドレスはプロファイル設定値 ([詳細]-[OS個別情報]タブ-[ネットワーク]-[DHCP]-[IPアドレス]) と同じものを指定してください。

クラスタ作成する際のvmnic名とアップリンク名の設定値

表3.1 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY CX M4シリーズ／PRIMERGY CX M5シリーズをクラスタ作成する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1 (業務用分散仮想スイッチ[注])	拡張オプション#1	vmnic2	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic4	Uplink4
vDS-2 (管理用分散仮想スイッチ[注])	拡張オプション#0	vmnic1	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic3	Uplink3

[注]: PRIMEFLEXのデフォルトの設定値です。

表3.2 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY RX M4シリーズ／PRIMERGY RX M5シリーズをクラスタ作成する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1 (業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic3[注2]	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic5[注2][注3]	Uplink4
vDS-2 (管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic2[注2]	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic4[注2][注3]	Uplink3

[注1]: PRIMEFLEXのデフォルトの設定値です。

[注2]:PRIMERGY RX4770 M5の場合、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

[注3]:拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。



「[クラスタ作成する際のvmnic名とアップリンク名の設定値](#)」は、拡張カードが本製品で使用するもののみの場合の設定です。対象サーバーがPRIMERGY RXシリーズで、拡張カードを複数ご購入いただいた場合は、[注2]の部分はお客様の環境に応じて適切なvmnic名を設定してください。vmnicの番号は、オンボードからPCIスロットの番号の小さい順に割り振られます。

拡張カードを2枚購入し、PCIスロット2、3に搭載した場合（PCIスロット1はSASアレイコントローラーカード）、vmnicの番号は以下のように割り振られます。PCIスロットの搭載位置については、対象サーバーのシステム構成図を参照してください。

表3.3 vmnic番号の例

オンボードの有無	ポートの位置	vmnic番号
なし	拡張オプションポート0	vmnic0
	拡張オプションポート1	vmnic1
	PCIスロット2のポート0	vmnic2
	PCIスロット2のポート1	vmnic3
	PCIスロット3のポート0	vmnic4
	PCIスロット3のポート1	vmnic5
あり	オンボードポート0	vmnic0
	オンボードポート1	vmnic1
	拡張オプションポート0	vmnic2
	拡張オプションポート1	vmnic3
	PCIスロット2のポート0	vmnic4
	PCIスロット2のポート1	vmnic5
	PCIスロット3のポート0	vmnic6
	PCIスロット3のポート1	vmnic7

3.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのクラスタ定義パラメーター設定値一覧（クラスタ作成機能）

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのクラスタ作成機能のクラスタ定義パラメーター設定値について説明します。



- PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのクラスタ作成機能をご利用の場合は、下記のクラスタ定義パラメーター設定値を「クラスタ作成」ウィザードで設定してください。
- クラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートを使用した場合は、クラスタ定義パラメーターの編集でお客様環境に応じて適切に設定してください。

3.2.1 CMS情報

設定項目	説明	設定値
種類	クラスタの種類 - VMware vSAN Cluster - Microsoft Failover Cluster	Microsoft Failover Cluster
仮想化管理ソフトウェア名[注1]	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値
IPv4アドレス[注1]	CMSのIPv4アドレス	CMSのIPv4アドレス
ドメイン名	CMSのドメイン名	CMSのドメイン名 [注2]
ユーザー名	CMSへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード[注3]	CMSへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード
パスワード(確認)[注3]	CMSへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード
WinRMサービス(SSL)ポート番号[注4]	CMSのWinRMサービス(SSL)ポート番号 固定値:5986	5986

[注1]:既存クラスタと異なる設定値を指定します。

[注2]:ドメイン名は、UPN(User Principal Name)形式で指定してください。

[注3]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

[注4]:このパラメーターは指定できません。

3.2.2 クラスタ基本情報

設定項目	説明	設定値
仮想化管理ソフトウェア名 [注1]	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値
種類 [注1]	クラスタの種類	Microsoft Failover Cluster
クラスタ名 [注2]	クラスタの名称	クラスタ作成するクラスタ名
構成ノード数	クラスタを構成するノード数 2ノード 3ノード以上 初期値:3ノード以上	任意の値
ストレージ構成	ストレージ構成 - Hybrid - All Flash (All SSD) 初期値:Hybrid	HybridまたはAll Flash (All SSD)

[注1]:このパラメーターは指定できません。

[注2]:ドット(.)を含むクラスタ名は指定できません。ドット(.)を含むクラスタ名を指定した場合、クラスタの作成で失敗します。

3.2.3 クラスタ詳細情報-[DNS]タブ

設定項目	説明	設定値
セカンダリDNSサーバーIPアドレス	セカンダリDNSサーバーのIPアドレス [注]	- お客様環境の既存AD構成時: お客様AD2のIPアドレス - PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct / PRIMEFLEX for

設定項目	説明	設定値
		Microsoft Azure Stack HCI 専用 ADVM構成時: ADVM2のIPアドレス

[注]:プライマリDNSサーバーのIPアドレスは、ISMのプロファイルに指定します。

3.2.4 クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ

設定項目	説明	設定値
LDAP設定を有効にする[注1]	LDAPの設定を有効にするかどうかを指定します。 ☒ :有効 ☐ :無効 初期値:無効	任意の値
ドメイン名	LDAPサーバーのドメイン名	LDAPのドメイン名 [注2]
ユーザー名	LDAPサーバーへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード[注3]	LDAPサーバーへの接続に使用するパスワード	LDAPサーバーへの接続に使用するパスワード (pfadminのパスワード)
パスワード(確認)[注3]	LDAPサーバーへの接続に使用するパスワード(確認)	LDAPサーバーへの接続に使用するパスワード (pfadminのパスワード)
ディレクトリサーバータイプ	ディレクトリサーバーのタイプ ・ Active Directory	Active Directory
プライマリ ホスト名またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス
プライマリ ポート番号	プライマリLDAPサーバーのLDAPサービス (non TLS/SSL) のポート番号 初期値:389	389
プライマリ TLS/SSLポート番号	プライマリLDAPサーバーのLDAPサービス (TLS/SSL) のポート番号 初期値:636	636
バックアップ ホスト名またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス
バックアップ ポート番号	バックアップLDAPサーバーのLDAPサービス (non TLS/SSL) のポート番号 初期値:389	389
バックアップ TLS/SSLポート番号	バックアップLDAPサーバーのLDAPサービス (TLS/SSL) のポート番号 初期値:636	636
部署名	LDAPの部署名	PF_Dept_1
ローカルユーザーによるログイン	ローカルユーザーによるログインを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効	有効

設定項目	説明	設定値
	初期値:無効	
常にTLS/SSLログイン	常にTLS/SSLによるログインを使用するかどうかを指定します。 ・ する ・ しない 初期値:しない	しない

[注1]:このパラメーターはiRMCのActive Directory連携を行わない場合は、指定不要です([LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外してください)。[LDAP設定を有効にする]のチェックを付けた場合は、iRMCのLDAP設定をします。OSは[LDAP設定を有効にする]のチェックの有無に関わらずLDAP設定をします。

[注2]:ドメイン名は、UPN (User Principal Name) 形式で指定してください。

[注3]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.2.5 クラスタ詳細情報 - [ネットワーク]タブ

設定項目	説明	設定値
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPv4アドレス	任意の値
業務用仮想スイッチ		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	業務用仮想スイッチ名
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値:有効	有効
管理用仮想スイッチ (複数指定可能)		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	管理用仮想スイッチ名
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値:有効	有効
ネットワーク名[注1][注2]	仮想ネットワークの名前	以下の3つ ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1 名 ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2 名 ・ 管理用ネットワークアダプタ名
Role設定	Roleに設定する値 ・ クラスタネットワーク通信を許可しない ・ クラスタネットワーク通信のみを許可	任意の値

設定項目		説明	設定値
		- クラスタネットワーク通信とクライアント間の接続を許可 初期値: 管理用ネットワークアダプタの場合: - クラスタネットワーク通信とクライアント間の接続を許可 ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1とライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2の場合: - クラスタネットワーク通信のみを許可	
	VLANタイプ	VLANのタイプ - なし(VLANを使用しない) - VLAN 初期値:VLAN	任意の値
	VLAN ID[注2]	クラスタネットワークで使用するVLAN ID 初期値:設定しない	任意の値
	IPv4ネットワークアドレス[注2]	クラスタネットワークのIPv4ネットワークアドレス	任意の値
	IPv4サブネットマスク[注2]	クラスタネットワークのIPv4サブネットマスク	任意の値

[注1]:このパラメーターはライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名とライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名の指定した順にライブマイグレーション用ネットワークの優先順序を設定します。

[注2]:PRIMERGY M5シリーズの場合、[ネットワーク名]が「ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名」と「ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名」の[VLAN ID]、[ネットワークアドレス]、[サブネットマスク]は同じものを指定します。

3.2.6 クラスタ詳細情報 - [ストレージプール]タブ

設定項目		説明	設定値
ジャーナル設定			
	メディアタイプ[注]	ジャーナルに使用するディスクのメディアタイプ - SSD - 初期値: ストレージ構成がHybridの場合: - SSD ストレージ構成がAll Flash (All SSD)の場合: -	SSDまたは-
	バスタイプ[注]	ジャーナルに使用するディスクのバスタイプ	SASまたは-

設定項目		説明	設定値
		• SAS • - 初期値: ストレージ構成がHybridの場合: • SAS ストレージ構成がAll Flash (All SSD)の場合: • -	
ストレージティア設定			
	ストレージティア名	ストレージティアのフレンドリーネーム	任意の値
	メディアタイプ[注]	ストレージティアのメディアタイプ • HDD • SSD 初期値: ストレージ構成がHybridの場合: • HDD ストレージ構成がAll Flash (All SSD)の場合: • SSD	HDDまたはSSD
	回復性[注]	回復性(割当て方法)の種類 • 双方向／3方向ミラー記憶域	双方向／3方向ミラー記憶域
	冗長性[注]	ディスクの冗長性 • 2ノード • 3ノード以上 初期値:[クラスタ基本情報]-[構成ノード数] で指定したノード数	2ノードまたは3ノード以上
	データコピー数[注]	データコピー数 • 双方向ミラー • 3方向ミラー 初期値: 冗長性が2ノードの場合: • 双方向ミラー 冗長性が3ノード以上の場合: • 3方向ミラー	双方向ミラーまたは3方向ミラー

[注]:このパラメーターは指定できません。

3.2.7 構成ノード選択

設定項目		説明	設定値
対象ノードの選択 (複数指定可能) [注1]			
	ノード名	ISMが管理ノード名から選択します。	ISMが管理するノード名 [注2]
	プロファイル	ISMが管理するプロファイル名から選択します。	任意の値

[注1]: [クラスタ基本情報]-[構成ノード数]で指定したノード数に合わせて指定します。

[注2]: 新規クラスタを構成するサーバーとなるノード名を指定します。

選択可能な対象サーバーの機種については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』を参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/>

3.2.8 ノード詳細情報 - [iRMC]タブ

ノード詳細情報-[iRMC]タブは、選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目		説明	設定値
ローカルユーザー設定			
	adminユーザー		
	パスワード[注]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード クラスタ作成時にISMに登録されているadminユーザーのパスワードを併せて更新します。	任意の値
	パスワード(確認)[注]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード(確認)	任意の値
	管理ユーザー		
	ユーザー名	iRMCに作成する管理ユーザー名	pflocaladmin
	パスワード[注]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
	パスワード(確認)[注]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード(確認)	任意の値

[注]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.2.9 ノード詳細情報 - [OS]タブ

選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目		説明	設定値
ローカルユーザー設定			
	管理ユーザー名	OSに作成する管理ユーザー名	任意の値 例) pflocaladmin
	管理ユーザーのパスワード[注]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
	管理ユーザーのパスワード(確認)[注]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値(確認)

[注]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.2.10 ノード詳細情報 - [仮想スイッチ]タブ

選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目		説明	設定値
スロット番号設定			
	スロット番号 (複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号 例) 2	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号
業務用仮想スイッチ			
仮想スイッチ設定情報			
	仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	業務用仮想スイッチ名
	スロット番号-ポート番号 (複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 例) 2-1	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 ※スロット番号は[スロット番号設定]-[スロット番号]で指定した設定値、ポート番号は「1」
	エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	有効
管理用仮想スイッチ			
仮想スイッチ設定情報			
	仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	管理用仮想スイッチ名
	スロット番号-ポート番号 (複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 例) 2-0	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 ※スロット番号は[スロット番号設定]-[スロット番号]で指定した設定値、ポート番号は「0」
	エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	有効
仮想ネットワークアダプタ (複数指定可能)			
	アダプタ名	仮想ネットワークアダプタの名前	以下の3つ ・ 管理用ネットワークアダプタ名 ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1 名

設定項目		説明	設定値
			ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2 名
	管理OS	管理OS用の仮想ネットワークアダプタかどうかを指定します。 - はい - いいえ 初期値:はい	以下を指定 - 管理用ネットワークアダプタ:はい - ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1:はい - ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2:はい
	IPv4アドレス [注1]	IPv4アドレス	任意の値
物理ネットワークアダプタ(複数指定可能)			
	スロット番号	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号 例)2	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号
	仮想マシンキュー [注2]	仮想マシンキューを有効にするかどうかを指定します。 - 有効 - 無効 初期値:有効	PCIアダプタ:有効
	SR/IOV [注2]	SR/IOVを有効にするかどうかを指定します。 - 有効 - 無効 初期値:無効	PCIアダプタ:無効
	vRSS [注2]	vRSSを有効にするかどうかを指定します。 - 有効 - 無効 初期値:無効	PCIアダプタ:有効

[注1]:管理用ネットワークアダプタのIPv4アドレスはプロファイル設定値([詳細]-[OS個別情報]タブ-[ネットワーク]-[DHCP]-[IPアドレス])と同じものを指定してください。

[注2]:このパラメーターはすべてのスロット番号で同じものを指定してください。

3.3 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)

PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ拡張機能のクラスタ定義パラメーター設定値について説明します。



注意

- PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ拡張機能をご利用の場合は、下記のクラスタ定義パラメーター設定値を「クラスタ拡張」ウィザードで設定してください。
- クラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートを使用した場合は、クラスタ定義パラメーターの編集でお客様環境に応じて適切に設定してください。

3.3.1 PRIMERGY RXシリーズ構成のクラスタ基本情報

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目	説明	設定値
仮想化管理ソフトウェア名 [注1]	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値
種類 [注1]	クラスタの種類	VMware vSAN Cluster
データセンター名	クラスタが属するデータセンター名	クラスタが属するデータセンター名
クラスタ名 [注1]	クラスタの名称	クラスタ拡張するクラスタ名
ストレージ構成	ストレージ構成 - Hybrid - All Flash 初期値: Hybrid	HybridまたはAll Flash
ネットワーク構成 [注2]	ネットワーク構成のタイプ - タイプI - タイプII 初期値: タイプI	タイプI

[注1]:このパラメーターは指定できません。

[注2]:クラスタ定義パラメーターを作成する場合に設定する項目です。このパラメーターは、クラスタ定義パラメーターを編集する場合には表示されません。

3.3.2 PRIMERGY CXシリーズ構成のクラスタ基本情報

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目	説明	設定値
仮想化管理ソフトウェア名 [注1]	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値
種類 [注1]	クラスタの種類	VMware vSAN Cluster
データセンター名	クラスタが属するデータセンター名	クラスタが属するデータセンター名
クラスタ名 [注1]	クラスタの名称	クラスタ拡張するクラスタ名
ストレージ構成	ストレージ構成 - Hybrid - All-Flash 初期値: Hybrid	HybridまたはAll-Flash [注3] Hybrid [注4]
ネットワーク構成 [注2]	ネットワーク構成のタイプ - タイプI - タイプII	タイプI [注3] タイプII [注4]

設定項目	説明	設定値
	初期値:タイプI	

[注1]:このパラメーターは指定できません。

[注2]:クラスタ定義パラメーターを作成する場合に設定する項目です。このパラメーターは、クラスタ定義パラメーターを編集する場合には表示されません。

[注3]:PRIMERGY CX M4シリーズ／PRIMERGY CX M5シリーズの場合に指定します。

[注4]:PRIMERGY CX M2シリーズの場合に指定します。

3.3.3 クラスタ詳細情報 - [DNS]タブ

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目	説明	設定値
ドメイン名	DNSのドメイン名	DNSのドメイン名 [注1]
セカンダリDNSサーバーIPアドレス	セカンダリDNSサーバーのIPアドレス [注2]	- お客様環境の既存AD構成時: お客様AD2のIPアドレス - PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSAN専用ADVM構成時: ADVM2のIPアドレス
DNSレコード登録の設定を有効にする [注3]	クラスタ拡張時に追加するサーバーのホスト (A/PTR)レコードをDNSへ自動で登録するかどうかを指定します。 「有効」に設定した場合に自動で登録を行います。 - 有効 - 無効 初期値:無効	- お客様環境の既存AD構成時、またはADなし構成時: 無効 - PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSAN専用ADVM構成時: 有効
WinRMサービスポート番号 [注3]	DNSサーバーのWinRMサービスの通信方式とポート番号を指定します。 - 通信方式 - HTTPS - HTTP 初期値:HTTPS - ポート番号 - HTTPSの場合 DNSサーバーのWinRMサービス (SSL) のポート番号 本項目を指定した場合は、DNSサーバーと暗号 (SSL) 通信します。 事前にDNSサーバーにTLS/SSL通信用証明書を登録しておく必要があります。 初期値:5986 - HTTPの場合 DNSサーバーのWinRMサービス (non SSL) のポート番号 DNSサーバーと平文で通信する場	- 通信方式 HTTPSまたはHTTP - ポート番号 - HTTPSの場合:5986 - HTTPの場合:5985

設定項目	説明	設定値
	合に指定します。 初期値:5985	
ユーザー名 [注3]	DNSサーバーへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード [注3][注4]	DNSサーバーへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード
パスワード(確認) [注3][注4]	DNSサーバーへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード

[注1]:ドメイン名は、UPN (User Principal Name) 形式で指定してください。

[注2]:プライマリDNSサーバーのIPアドレスは、ISMのプロファイルに指定します。

[注3]:DNSサーバーがWindows Serverの場合のみ有効です。PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバーを使用したActive Directory連携を行わない場合は、[DNSレコード登録]に「無効」を指定してください。また、[WinRMサービスポート番号]、[WinRMサービス(SSL)ポート番号]、[ユーザー名]、[パスワード]は、指定不要です。

[注4]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.3.4 クラスタ詳細情報 - [NTP]タブ

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目	説明	設定値
NTPサーバー1ホスト名またはIPアドレス	NTPサーバー1のホスト名、またはIPアドレス	NTPサーバー1のホスト名、またはIPアドレス
NTPサーバー2ホスト名またはIPアドレス	NTPサーバー2のホスト名、またはIPアドレス	NTPサーバー2のホスト名、またはIPアドレス
NTPピアとの最大間隔	NTPタイムソース選定におけるピアとの最大間隔(秒) 初期値:30(秒)	30

3.3.5 クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバーを使用したActive Directory連携を行わない場合は、指定不要です([LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外してください)。

設定項目	説明	設定値
LDAP設定を有効にする[注1]	LDAPの設定を有効にするかどうかを指定します。 ☒ :有効 ☐ :無効 初期値:無効	任意の値
ドメイン名	LDAPサーバーのドメイン名	LDAPのドメイン名 [注2]
ユーザー名	LDAPサーバーへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード[注3]	LDAPサーバーへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード

設定項目	説明	設定値
パスワード(確認)[注3]	LDAPサーバーへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード
ディレクトリサーバータイプ	ディレクトリサーバーのタイプ ・ Active Directory	Active Directory
プライマリ ホスト名またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス
プライマリ ポート番号	プライマリLDAPサーバーのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号 初期値:389	389
プライマリ TLS/SSLポート番号	プライマリLDAPサーバーのLDAPサービス(TLS/SSL)のポート番号 初期値:636	636
バックアップ ホスト名またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス
バックアップ ポート番号	バックアップLDAPサーバーのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号 初期値:389	389
バックアップ TLS/SSLポート番号	バックアップLDAPサーバーのLDAPサービス(TLS/SSL)のポート番号 初期値:636	636
部署名	LDAPの部署名	PF_Dept_1
ローカルユーザーによるログイン	ローカルユーザーによるログインを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値:無効	有効
常にTLS/SSLログイン	常にTLS/SSLによるログインを使用するかどうかを指定します。 ・ する ・ しない 初期値:しない	しない

[注1]:このパラメーターはActive Directory連携を行わない場合は、指定不要です([LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外してください)。[LDAP設定を有効にする]のチェックを付けた場合は、iRMCとESXiに対してLDAP設定をします。

[注2]:ドメイン名は、UPN(User Principal Name)形式で指定してください。

[注3]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.3.6 クラスタ詳細情報 - [機能]タブ

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目	説明	設定値
vSphere HA設定		

設定項目		説明	設定値
	隔離時の応答アドレス1	隔離時の応答アドレス (IPアドレス) 1 注) 通常はクラスタを構成する1ノード目のVirtual SAN NetworkのIPアドレスを指定します。	隔離時の応答アドレス1
	隔離時の応答アドレス2	隔離時の応答アドレス (IPアドレス) 2 注) 通常はクラスタを構成する2ノード目のVirtual SAN NetworkのIPアドレスを指定します。	隔離時の応答アドレス2
vSAN設定			
	ストレージへのディスクの追加	ストレージへのディスクの追加を自動にするかどうかを指定します。 ・ 手動	手動
	デデュープおよび圧縮	デデュープおよび圧縮を有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 無効	無効 [注1] 任意の値 [注2]

[注1]: ストレージ構成がHybridの場合に指定します。

[注2]: ストレージ構成がAll-Flashの場合に指定します。

3.3.7 クラスタ詳細情報 - [ネットワーク]タブ

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目		説明	設定値
デフォルトゲートウェイ		デフォルトゲートウェイのIPv4アドレス	任意の値
vSAN分散仮想スイッチ設定情報			
vDS-1およびvDS-2			
	vDS名[注1]	vDS (vSphere Distributed Switch) の名前	任意の値 ・ 業務用分散仮想スイッチ名 ・ 管理用分散仮想スイッチ名 ※vDS設定情報リストは2つ
	NIOC	NIOCを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	vDS-1: 無効 (指定できません) vDS-2: 有効または無効
	NIOC設定 (複数指定可能)[注2]		
	トラフィック[注3]	システムトラフィックタイプ ・ 管理 ・ vSAN ・ vMotion	管理、vSAN、vMotion
	シェア	システムトラフィックタイプの相対的な優先度	任意の値

設定項目		説明	設定値
		1～100 初期値:30(管理)、100(vSAN)、70(vMotion)	
	予約[注4]	単一の物理アダプタ上で確保する必要のある最小バンド幅 (Mbps) 初期値:500(管理)、1000(vSAN)、500(vMotion)	任意の値
	制限[注4]	単一物理アダプタでシステムトラフィックタイプが使用できる最大バンド幅 (Mbps) 初期値:0	任意の値
	MTU	最大転送ユニット(MTU)のサイズ(バイト数) 初期値:1500 最大値:9000	任意の値
	ポートグループ(複数指定可能)		
	ポートグループ名 [注5]	vDSポートグループの名前(ネットワークラベル)	任意の値
	タイプ	vDSポートグループのタイプ • VMkernel • 仮想マシン	ネットワーク構成:タイプI • vDS-1 - ー 業務用仮想マシンポートグループ:仮想マシン • vDS-2 - ー 管理用ネットワークポートグループ:VMkernel - ー vSAN用ネットワークポートグループ:VMkernel - ー vMotion用ネットワークポートグループ:VMkernel - ー 管理用仮想マシンポートグループ:仮想マシン ネットワーク構成:タイプII • vDS-1 - ー 管理用ネットワークポートグループ:VMkernel - ー 業務用仮想マシンポートグループ:仮想マシン • vDS-2 - ー vSAN用ネットワークポートグループ:VMkernel - ー vMotion用ネットワークポートグループ:VMkernel - ー 管理用仮想マシンポートグループ:仮想マシン
	ポート数	分散ポートグループのポート数	任意の値

設定項目		説明	設定値
		初期値:8 最大値:8192	
	VLANタイプ	VLANのタイプ ・ なし(VLANを使用しない) ・ VLAN 初期値:VLAN	任意の値
	VLAN ID	vDSポートグループで使用するVLAN ID。 初期値:設定しない	任意の値
	IPv4ネットワークアドレス	VMkernelアダプタのIPv4ネットワークアドレス	任意の値
	IPv4サブネットマスク	VMkernelアダプタのIPv4サブネットマスク	任意の値
	トラフィック [注6]	トラフィック ・ 管理 ・ vSAN ・ vMotion	ネットワーク構成:タイプI ・ vDS-1 — — ・ vDS-2 — 管理用ネットワークポートグループ:管理 — vSAN用 ネットワークポートグループ:vSAN — vMotion用 ネットワークポートグループ:vMotion ネットワーク構成:タイプII ・ vDS-1 — 管理用ネットワークポートグループ:管理 ・ vDS-2 — vSAN用 ネットワークポートグループ:vSAN — vMotion用 ネットワークポートグループ:vMotion
アップリンク設定(複数指定可能)			
	アップリンク名	アップリンクの識別名 ・ Uplink 1 ・ Uplink 2 ・ Uplink 3 ・ Uplink 4	「 クラスタ拡張する際のvmnic名とアップリンク名の設定値 」参照
フェイルオーバーの優先順序設定[注7]			
	分散方法	アップリンクのワークロードの分散方法 ・ アクティブ ・ スタンバイ	任意の値

設定項目				説明	設定値
			優先順序	アップリンクの優先順序を0から始まる整数で指定します。	任意の値

[注1]:vDS名は、お客様環境に応じて適切なvDS名を指定してください。

[注2]:[設定]ボタンを選択すると、[トラフィック]、[シェア]、[予約]、[制限]の指定が可能です。

[注3]:このパラメーターは指定できません。

[注4]:[制限]に指定する値は、[予約]に指定した値以上を指定してください。

[注5]:vDSのポートグループ名は、お客様環境に応じて適切なポートグループ名を指定してください。

[注6]:vDSポートグループのタイプが「VMkernel」の場合のみ有効です。

[注7]:[ポートグループ名]を指定した場合、[設定]ボタンを選択すると、[分散方法]、[優先順序]の指定が可能です。

3.3.8 クラスタ詳細情報 - [ストレージプール]タブ

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目		説明	設定値
ストレージプール名		vSANデータストア名	任意の値

3.3.9 構成ノード選択

設定項目		説明	設定値
対象ノードの選択 (複数指定可能)			
	ノード名	ISMが管理するノード名から選択します。	ISMが管理するノード名 [注]
	プロファイル	ISMが管理するプロファイル名から選択します。	任意の値

[注]:クラスタ拡張時に追加するサーバーとなるノード名を指定します。

選択可能な対象サーバーの機種については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』を参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/>

3.3.10 ノード詳細情報 - [iRMC]タブ

選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目		説明	設定値
ローカルユーザー設定			
	adminユーザー		
	パスワード[注]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード クラスタ拡張時にISMに登録されているadminユーザーのパスワードを併せて更新します。	任意の値
	パスワード(確認)[注]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード(確認)	任意の値
	管理ユーザー		
	ユーザー名	iRMCに作成する管理ユーザー名	pflocaladmin

設定項目		説明	設定値
	パスワード[注]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
	パスワード(確認)[注]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード(確認)	任意の値

[注]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.3.11 ノード詳細情報 - [OS]タブ

選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目		説明	設定値
ローカルユーザー設定			
	管理ユーザー名	OSに作成する管理ユーザー名	任意の値 例) pflocaladmin
	管理ユーザーのパスワード[注]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
	管理ユーザーのパスワード(確認)[注]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値(確認)

[注]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

シャープ (#)を含むパスワードは指定できません。シャープ (#)を含むパスワードを指定した場合、プロファイル適用で失敗します。

3.3.12 ノード詳細情報 - [vDS]タブ

選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目		説明	設定値
vDS-1およびvDS-2			
物理NIC(複数指定可能)			
	vmnic名	物理ネットワークアダプタの名前 例) vmnic2 ※"vmnic"で始まる数字のみ指定します。	「 クラスタ拡張する際のvmnic名とアップリンク名の設定値 」参照
	アップリンク名[注1]	アップリンクの識別名 ・ Uplink 1 ・ Uplink 2 ・ Uplink 3 ・ Uplink 4	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ- [vSAN分散仮想スイッチ設定情報]- [vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]- [アップリンク名]で指定した設定値
ポートグループ(複数指定可能)			
	ポートグループ名[注1]	vDSポートグループの名前(ネットワークラベル)	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ- [vSAN分散仮想スイッチ設定情報]- [vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]- [ポートグループ名]で指定した設定値
	タイプ[注1]	vDSポートグループのタイプ ・ VMkernel	ネットワーク構成:タイプI ・ vDS-1

設定項目	説明	設定値
	仮想マシン	- 業務用仮想マシンポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[ポートグループ<業務用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 - vDS-2 - 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 - vSAN用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 - vMotion用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポート>]-[タイプ]で指定した設定値 - 管理用仮想マシンポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 ネットワーク構成:タイプII - vDS-1 - 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 - 業務用仮想マシンポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[ポートグループ<業務用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値

設定項目	説明	設定値
		トグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 • vDS-2 － vSAN用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 － vMotion用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポート>]-[タイプ]で指定した設定値 － 管理用仮想マシンポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値
トラフィック[注1]	トラフィック • 管理 • vSAN • vMotion	ネットワーク構成:タイプI • vDS-1 － － • vDS-2 － 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 － vSAN用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 － vMotion用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 ネットワーク構成:タイプII

設定項目		説明	設定値
			• vDS-1 - ー 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 • vDS-2 - ー vSAN用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 - ー vMotion用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値
	IPv4アドレス [注2]	VMkernelアダプタのIPv4アドレス	任意の値

[注1]:このパラメーターは指定できません。

[注2]:管理用ネットワークポートグループのIPv4アドレスはプロファイル設定値([詳細]-[OS個別情報]タブ-[ネットワーク]-[DHCP]-[IPアドレス])と同じものを指定してください。

クラスタ拡張する際のvmnic名とアップリンク名の設定値

表3.4 PRIMEFLEX HS PRIMERGY CX M2シリーズにPRIMERGY CX M2シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(管理用分散仮想スイッチ[注])	拡張オプション#0	vmnic0	Uplink1
	拡張オプション#1	vmnic1	Uplink2
vDS-2(管理兼業務用分散仮想スイッチ[注])	PCIカード#0	vmnic2	Uplink3
	PCIカード#1	vmnic3	Uplink4

[注]:PRIMEFLEXの初期値です。

表3.5 PRIMEFLEX HS PRIMERGY RX M2シリーズにPRIMERGY RX M2シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic1	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic3[注2]	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic0	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic2[注2]	Uplink3

[注1]:PRIMEFLEXの初期値です。

[注2]:拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

表3.6 PRIMEFLEX HS PRIMERGY CX M2シリーズにPRIMERGY CX M4シリーズ／PRIMERGY CX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(管理用分散仮想スイッチ[注])	拡張オプション#0	vmnic1	Uplink1
	拡張オプション#1	vmnic2	Uplink2
vDS-2(管理兼業務用分散仮想スイッチ[注])	PCIカード#0	vmnic3	Uplink3
	PCIカード#1	vmnic4	Uplink4

[注]:PRIMEFLEXの初期値です。

表3.7 PRIMEFLEX HS PRIMERGY RX M2シリーズにPRIMERGY RX M4シリーズ／PRIMERGY RX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic3[注2]	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic5[注2][注3]	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic2[注2]	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic4[注2][注3]	Uplink3

[注1]:PRIMEFLEXの初期値です。

[注2]:PRIMERGY RX4770 M5の場合、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

[注3]:拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

表3.8 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY CX M4シリーズにPRIMERGY CX M4シリーズ／PRIMERGY CX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注])	拡張オプション#1	vmnic2	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic4	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注])	拡張オプション#0	vmnic1	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic3	Uplink3

[注]:PRIMEFLEXの初期値です。

表3.9 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY RX M4シリーズにPRIMERGY RX M4シリーズ／PRIMERGY RX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic3[注2]	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic5[注2][注3]	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic2[注2]	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic4[注2][注3]	Uplink3

[注1]:PRIMEFLEXの初期値です。

[注2]:PRIMERGY RX4770 M5の場合、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

[注3]:拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

表3.10 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY CX M5シリーズにPRIMERGY CX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注])	拡張オプション#1	vmnic2	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic4	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注])	拡張オプション#0	vmnic1	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic3	Uplink3

[注]:PRIMEFLEXの初期値です。

表3.11 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY RX M5シリーズにPRIMERGY RX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic3[注2]	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic5[注2][注3]	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic2[注2]	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic4[注2][注3]	Uplink3

[注1]:PRIMEFLEXの初期値です。

[注2]:PRIMERGY RX4770 M5の場合、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

[注3]:拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

注意

「**クラスタ拡張する際のvmnic名とアップリンク名の設定値**」は、拡張カードが本製品で使用するもののみの場合の設定です。対象サーバーがPRIMERGY RXシリーズで、拡張カードを複数ご購入いただいた場合は、[注2]の部分はお客様の環境に応じて適切なvmnic名を設定してください。vmnicの番号は、オンボードからPCIスロットの番号の小さい順に割り振られます。

拡張カードを2枚購入し、PCIスロット2、3に搭載した場合(PCIスロット1はSASアレイコントローラーカード)、vmnicの番号は以下のように割り振られます。PCIスロットの搭載位置については、対象サーバーのシステム構成図を参照してください。

表3.12 vmnic番号の例

オンボードの有無	ポートの位置	vmnic番号
なし	拡張オプションポート0	vmnic0
	拡張オプションポート1	vmnic1
	PCIスロット2のポート0	vmnic2
	PCIスロット2のポート1	vmnic3
	PCIスロット3のポート0	vmnic4
	PCIスロット3のポート1	vmnic5
あり	オンボードポート0	vmnic0
	オンボードポート1	vmnic1
	拡張オプションポート0	vmnic2
	拡張オプションポート1	vmnic3
	PCIスロット2のポート0	vmnic4

オンボードの有無	ポートの位置	vmnic番号
	PCIスロット2のポート1	vmnic5
	PCIスロット3のポート0	vmnic6
	PCIスロット3のポート1	vmnic7

3.4 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのクラスタ定義パラメーター設定値一覧（クラスタ拡張機能）

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのクラスタ拡張機能のクラスタ定義パラメーター設定値について説明します。



- PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCIのクラスタ拡張機能をご利用の場合は、下記のクラスタ定義パラメーター設定値を「クラスタ拡張」ウィザードで設定してください。
- クラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートを使用した場合は、クラスタ定義パラメーターの編集でお客様環境に応じて適切に設定してください。

3.4.1 クラスタ基本情報

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目	説明	設定値
仮想化管理ソフトウェア名 [注]	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値
種類 [注]	クラスタの種類	Microsoft Failover Cluster
クラスタ名 [注]	クラスタの名称	クラスタ拡張するクラスタ名
構成ノード数 [注]	クラスタを構成するノード数	任意の値
ストレージ構成	ストレージ構成 ・ Hybrid ・ All Flash (All SSD) 初期値: Hybrid	HybridまたはAll Flash (All SSD)

[注]:このパラメーターは指定できません。

3.4.2 クラスタ詳細情報-[DNS]タブ

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目	説明	設定値
セカンダリDNSサーバーIPアドレス	セカンダリDNSサーバーのIPアドレス [注]	- お客様環境の既存AD構成時: お客様AD2のIPアドレス - PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct／PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCI 専用ADVM構成時: ADVM2のIPアドレス

[注]:プライマリDNSサーバーのIPアドレスは、ISMのプロファイルに指定します。

3.4.3 クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目	説明	設定値
LDAP設定を有効にする [注1]	LDAPの設定を有効にするかどうかを指定します。 ☒ :有効 ☐ :無効 初期値:無効	任意の値
ドメイン名	LDAPサーバーのドメイン名	LDAPのドメイン名 [注2]
ユーザー名	LDAPサーバーへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード [注3]	LDAPサーバーへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード
パスワード(確認) [注3]	LDAPサーバーへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード
ディレクトリサーバータイプ	ディレクトリサーバーのタイプ • Active Directory	Active Directory
プライマリ ホスト名またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス
プライマリ ポート番号	プライマリLDAPサーバーのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号 初期値:389	389
プライマリ TLS/SSLポート番号	プライマリLDAPサーバーのLDAPサービス(TLS/SSL)のポート番号 初期値:636	636
バックアップ ホスト名またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバーのホスト名、またはIPアドレス
バックアップ ポート番号	バックアップLDAPサーバーのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号 初期値:389	389
バックアップ TLS/SSLポート番号	バックアップLDAPサーバーのLDAPサービス(TLS/SSL)のポート番号 初期値:636	636
部署名	LDAPの部署名	PF_Dept_1
ローカルユーザーによるログイン	ローカルユーザーによるログインを有効にするかどうかを指定します。 • 有効 • 無効 初期値:無効	有効
常にTLS/SSLログイン	常にTLS/SSLによるログインを使用するかどうかを指定します。	しない

設定項目	説明	設定値
	・ する ・ しない 初期値: しない	

[注1]: このパラメーターはiRMCのActive Directory連携を行わない場合は、指定不要です ([LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外してください)。[LDAP設定を有効にする]のチェックを付けた場合は、iRMCのLDAP設定をします。OSは[LDAP設定を有効にする]のチェックの有無に関わらずLDAP設定します。

[注2]: ドメイン名は、UPN (User Principal Name) 形式で指定してください。

[注3]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.4.4 クラスタ詳細情報 - [ネットワーク]タブ

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目	説明	設定値
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPv4アドレス	任意の値
業務用仮想スイッチ (複数指定可能)		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	業務用仮想スイッチ名
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	有効
管理用仮想スイッチ		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	管理用仮想スイッチ名
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	有効
ネットワーク名[注]	仮想ネットワークの名前	以下の3つ ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1 名 ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2 名 ・ 管理用ネットワークアダプタ名
Role設定	Roleに設定する値 ・ クラスタネットワーク通信を許可しない ・ クラスタネットワーク通信のみを許可 ・ クラスタネットワーク通信とクライアント間の接続を許可	任意の値

設定項目		説明	設定値
		初期値: 管理用ネットワークアダプタの場合: ・ クラスタネットワーク通信とクライアント間の接続を許可 ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1とライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2の場合: ・ クラスタネットワーク通信のみを許可	
	VLANタイプ	VLANのタイプ ・ なし(VLANを使用しない) ・ VLAN 初期値:VLAN	任意の値
	VLAN ID[注]	クラスタネットワークで使用するVLAN ID 初期値:設定しない	任意の値
	IPv4ネットワークアドレス[注]	クラスタネットワークのIPv4ネットワークアドレス	任意の値
	IPv4サブネットマスク[注]	クラスタネットワークのIPv4サブネットマスク	任意の値

[注]:PRIMERGY M5シリーズの場合、[ネットワーク名]が「ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名」と「ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名」の[VLAN ID]、[ネットワークアドレス]、[サブネットマスク]は同じものを指定します。

3.4.5 クラスタ詳細情報 - [ストレージプール]タブ

クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

設定項目		説明	設定値
ジャーナル設定			
	メディアタイプ[注]	ジャーナルに使用するディスクのメディアタイプ ・ SSD ・ - 初期値: ストレージ構成がHybridの場合: ・ SSD ストレージ構成がAll Flash (All SSD)の場合: ・ -	SSDまたは-
	バスタイプ[注]	ジャーナルに使用するディスクのバスタイプ ・ SAS ・ -	SASまたは-

設定項目		説明	設定値
		初期値: ストレージ構成がHybridの場合: ・ SAS ストレージ構成がAll Flash (All SSD)の場合: ・ -	
ストレージティア設定			
	ストレージティア名	ストレージティアのフレンドリーネーム	任意の値
	メディアタイプ[注]	ストレージティアのメディアタイプ ・ HDD ・ SSD 初期値: ストレージ構成がHybridの場合: ・ HDD ストレージ構成がAll Flash (All SSD)の場合: ・ SSD	HDDまたはSSD
	回復性[注]	回復性(割当て方法)の種類 ・ 双方向／3方向ミラー記憶域	双方向／3方向ミラー記憶域
	冗長性[注]	ディスクの冗長性 ・ 2ノード ・ 3ノード以上 初期値:[クラスタ基本情報]-[構成ノード数] で指定したノード数	2ノードまたは3ノード以上
	データコピー数[注]	データコピー数 ・ 双方向ミラー ・ 3方向ミラー 初期値: 冗長性が2ノードの場合: ・ 双方向ミラー 冗長性が3ノード以上の場合の場合: ・ 3方向ミラー	双方向ミラーまたは3方向ミラー

[注]:このパラメーターは指定できません。

3.4.6 構成ノード選択

設定項目	説明	設定値
対象ノードの選択 (複数指定可能)		
ノード名	ISMが管理するノード名から選択します。	ISMが管理するノード名 [注]

設定項目	説明	設定値
プロファイル	ISMが管理するプロファイル名から選択します。	任意の値

[注]: クラスタ拡張時に追加するサーバーとなるノード名を指定します。
 選択可能な対象サーバーの機種については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』を参照してください。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/>

3.4.7 ノード詳細情報 - [iRMC]タブ

選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目	説明	設定値
ローカルユーザー設定		
adminユーザー		
パスワード[注]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード クラスタ拡張時にISMに登録されているadminユーザーのパスワードを併せて更新します。	任意の値
パスワード(確認)[注]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード(確認)	任意の値
管理ユーザー		
ユーザー名	iRMCに作成する管理ユーザー名	pflocaladmin
パスワード[注]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
パスワード(確認)[注]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード(確認)	任意の値

[注]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.4.8 ノード詳細情報 - [OS]タブ

選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目	説明	設定値
ローカルユーザー設定		
管理ユーザー名	OSに作成する管理ユーザー名	任意の値 例) pflocaladmin
管理ユーザーのパスワード[注]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
管理ユーザーのパスワード(確認)[注]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値(確認)

[注]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート／インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

3.4.9 ノード詳細情報 - [仮想スイッチ]タブ

選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

設定項目		説明	設定値
スロット番号設定			
	スロット番号(複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号 例) 2	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号
業務用仮想スイッチ			
仮想スイッチ設定情報			
	仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	業務用仮想スイッチ名
	スロット番号-ポート番号(複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 例) 2-1	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 ※スロット番号は[スロット番号設定]-[スロット番号]で指定した設定値、ポート番号は「1」
	エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	有効
管理用仮想スイッチ			
仮想スイッチ設定情報			
	仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	管理用仮想スイッチ名
	スロット番号-ポート番号(複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 例) 2-0	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 ※スロット番号は[スロット番号設定]-[スロット番号]で指定した設定値、ポート番号は「0」
	エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	有効
仮想ネットワークアダプタ(複数指定可能)			
	アダプタ名 [注1]	仮想ネットワークアダプタの名前	以下の3つ ・ 管理用ネットワークアダプタ名 ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1 名 ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2 名
	管理OS	管理OS用の仮想ネットワークアダプタかどうかを指定します。	以下を指定 ・ 管理用ネットワークアダプタ: はい

設定項目		説明	設定値
		・ はい ・ いいえ 初期値: はい	・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1: はい ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2: はい
	IPv4アドレス [注2][注3]	IPv4アドレス	任意の値
物理ネットワークアダプタ(複数指定可能)			
	スロット番号	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号 例) 2	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号
	仮想マシンキュー [注4]	仮想マシンキューを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	PCIアダプタ: 有効
	SR/IOV [注4]	SR/IOVを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 無効	PCIアダプタ: 無効
	vRSS [注4]	vRSSを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 無効	PCIアダプタ: 有効

[注1]: クラスタを構成する既存サーバーに指定した名称の仮想ネットワークアダプタが存在しない場合、クラスタ拡張機能はエラー終了します。

[注2]: クラスタを構成する既存サーバーにおける同名の仮想ネットワークアダプタと同じサブネットのIPアドレスを指定します。

[注3]: 管理用ネットワークアダプタのIPv4アドレスはプロファイル設定値([詳細]- [OS個別情報]タブ-[ネットワーク]-[DHCP]-[IPアドレス])と同じものを指定してください。

[注4]: このパラメーターはすべてのスロット番号で同じものを指定してください。

第4章 プロファイルの設定値一覧

プロファイルの設定値について説明します。

既存クラスタと同じ世代のサーバーをクラスタ作成またはクラスタ拡張する場合は、ISM for PRIMEFLEX納品時の環境設定書を参照してください。

4.1 PRIMEFLEX for VMware vSAN V1のクラスタを作成する場合のプロファイル設定値一覧

本節はPRIMEFLEX for VMware vSAN V1 (PRIMERGY M4シリーズ)のクラスタを作成する場合に参照してください。



- ・ 記載のない設定値は、チェックを付けしないでください。
- ・ 以下のポリシーで設定する設定項目については、各ポリシーに設定してください。
 - － BIOSポリシー
 - － iRMCポリシー
 - － OSポリシー

4.1.1 基本情報

設定項目	設定値
所属グループパス	/ProfileGroup/Administrator 前方一致
プロファイル名	<任意のプロファイル名>
カテゴリ	Server-RXまたはServer-CX
BIOSポリシー	<参照するBIOSのポリシー>
iRMCポリシー	<参照するiRMCのポリシー>
OSタイプ	VMware ESXi
OSポリシー	<参照するOSのポリシー>
説明	<任意の説明>

4.1.2 詳細 - [BIOS]タブ

設定項目	設定値
CPU Configuration	
Hyper-Threading	☒ : Enabled
Intel Virtualization Technology	☒ : Enabled
Intel Vt-d	☒ : Enabled
Power Technology	☒ : Custom [注1]
Enhanced Speed Step	☒ : Disabled [注2]
Turbo Mode	☒ : Disabled [注2]
Override OS Energy Performance	☒ : Enabled

設定項目				設定値	
			Energy Performance	☑ : Performance	
			CPU C1E Support	☑ : Disabled [注2]	
			CPU C6 Report	☑ : Disabled [注2]	
			Package C State limit	☑ : C0	
Memory Configuration					
		NUMA		☑ : Enabled	
		DDR Performance		☑ : Performance optimized	
CSM Configuration					
		Launch CSM		☑ : Disabled	
Network Stack					
		Network Stack		☑ : Enabled	
			IPv4 PXE Support	☑ : Enabled	
			IPv6 PXE Support	☑ : Disabled	

[注1]:PRIMERGY RXシリーズ構成の場合、「BIOS設定」画面に表示されない項目ですが、[Override OS Energy Performance]と[Energy Performance]を設定するために必要な設定値です。

[注2]:PRIMERGY CXシリーズ構成の場合に設定する設定値です。

4.1.3 詳細 - [iRMC]タブ

設定項目			設定値
iRMC GUI			
	デフォルト言語		☒ : <任意のデフォルト言語>
電源制御			
	POSTエラー時の動作		☒ : 起動継続
	電源復旧時動作設定		☒ : 電源断前の状態に戻す
	電力制御		☒ : OSによるコントロール
ファンテスト			
	ファン確認時刻		☒ : 23:00
	ファンテスト無効化		☒ : ☐
ソフトウェアウォッチドッグ			
	ソフトウェアウォッチドッグ		☒ : 無効
	動作		☒ : 継続稼働
	タイムアウト時間		☒ : 5分
Bootウォッチドッグ			
	Bootウォッチドッグ		☒ : 無効
	動作		☒ : 継続稼働
	タイムアウト時間		☒ : 100分
時刻			
	タイムモード		☒ : システムRTC
		RTCモード	☒ : UTC

設定項目		設定値
	タイムゾーン	☒ : <任意のタイムゾーン>
ポート番号とネットワークサービス設定		
	Telnet有効	☒ : 有効
	Telnetポート(初期値:3172)	☒ : 3172
	SSH有効	☒ : 有効
	SSHポート(初期値:22)	☒ : 22
SNMP一般設定		
	SNMP有効	☒ : 有効
	SNMPポート(初期値:161)	☒ : 161
	SNMPサービスプロトコル	☒ : 全て(SNMPv1/v2c/v3)
	SNMPv1/v2cコミュニティ名	☒ : <任意のコミュニティ名>
SNMPトラップ送信先		
	SNMPトラップコミュニティ	☒ : <任意のコミュニティ名>
	送信先SNMPサーバー1	☒ : <送信先SNMPサーバー1のIPアドレス>
	プロトコル	☒ : SNMPv1
BIOSバックアップ設定		
	自動BIOSパラメーターバックアップ	☒ : ☒

4.1.4 詳細 - [OS]タブ

設定項目		設定値
インストール形式		
	インストール方法	PXE
インストール指定		
	インストールメディア	<インストールするOSのメディアをリストから選択>
	ServerView Suite DVD	最新版数でインストール
管理LANネットワークポート設定		
	ネットワークポート指定	☒
	指定方法	MACアドレス
	MACアドレス	<任意のMACアドレス>
RAIDとディスクの構成		
	RAIDとディスクの設定	
	アレイコントローラを使用しない	☒ : SATA
基本設定		
	キーボード	<任意のキーボード>
ネットワーク		
	使用するVLAN ID	0
インストール後のスクリプト実行 [注]		
	インストール後のスクリプト実行	☒
	スクリプト格納ディレクトリ	kickstart

設定項目		設定値
	実行するスクリプト	ESXi_Setting.sh

[注]:この設定項目はクラスタ作成機能が自動で設定します。手動では設定しない(チェックを付けない)でください。

4.1.5 詳細 - [OS個別情報]タブ

設定項目		設定値
ライセンス合意		☒
インストールメディアタイプ		<任意のインストールメディアタイプ>
Rootパスワード [注]		<任意のRootパスワード>
Rootパスワード(確認) [注]		<任意のRootパスワード>
ネットワーク		
	DHCP	☐
	IPアドレス	<任意のIPアドレス>
	サブネットマスク	<任意のサブネットマスク>
	デフォルトゲートウェイ	<任意のデフォルトゲートウェイ>
	DNSサーバー	☒ : <任意のDNSサーバーのIPアドレス>
	コンピューター名をDNSサーバーから取得	☐
	コンピューター名	<任意のコンピューター名>

[注]:シャープ (#)を含むパスワードは指定できません。シャープ (#)を含むパスワードを指定した場合、プロファイル適用で失敗します。

4.2 PRIMEFLEX for VMware vSAN V2のクラスタを作成する場合のプロファイル設定値一覧

本節はPRIMEFLEX for VMware vSAN V2 (PRIMERGY M5シリーズ)のクラスタを作成する場合に参照してください。



注意

- 記載のない設定値は、チェックを付けないでください。
- 以下のポリシーで設定する設定項目については、各ポリシーに設定してください。
 - BIOSポリシー
 - iRMCポリシー
 - OSポリシー

4.2.1 基本情報

設定項目	設定値
所属グループパス	/ProfileGroup/Administrator 前方一致
プロファイル名	<任意のプロファイル名>
カテゴリー	Server-RXまたはServer-CX
BIOSポリシー	<参照するBIOSのポリシー>

設定項目	設定値
iRMCポリシー	< 参照するiRMCのポリシー >
OSタイプ	VMware ESXi
OSポリシー	< 参照するOSのポリシー >
説明	< 任意の説明 >

4.2.2 詳細 - [BIOS]タブ

設定項目	設定値
CPU Configuration	
Hyper-Threading	☒ : Enabled
Intel Virtualization Technology	☒ : Enabled
Intel Vt-d	☒ : Enabled
Power Technology	☒ : Custom [注1]
Enhanced Speed Step	☒ : Disabled [注2]
Turbo Mode	☒ : Disabled [注2]
Override OS Energy Performance	☒ : Enabled
Energy Performance	☒ : Performance
CPU C1E Support	☒ : Disabled [注2]
CPU C6 Report	☒ : Disabled [注2]
Package C State limit	☒ : C0
Memory Configuration	
NUMA	☒ : Enabled
DDR Performance	☒ : Performance optimized
CSM Configuration	
Launch CSM	☒ : Disabled
Network Stack	
Network Stack	☒ : Enabled
IPv4 PXE Support	☒ : Enabled
IPv6 PXE Support	☒ : Disabled

[注1]:PRIMERGY RXシリーズ構成の場合、「BIOS設定」画面に表示されない項目ですが、[Override OS Energy Performance]と[Energy Performance]を設定するために必要な設定値です。

[注2]:PRIMERGY CXシリーズ構成の場合に設定する設定値です。

4.2.3 詳細 - [iRMC]タブ

設定項目	設定値
iRMC GUI	
デフォルト言語	☒ : < 任意のデフォルト言語 >
電源制御	
POSTエラー時の動作	☒ : 起動継続
電源復旧時動作設定	☒ : 電源断前の状態に戻す

設定項目		設定値
	電力制御	☒ :OSによるコントロール
ファンテスト		
	ファン確認時刻	☒ :23:00
	ファンテスト無効化	☒ : ☐
ソフトウェアウォッチドッグ		
	ソフトウェアウォッチドッグ	☒ :無効
	動作	☒ :継続稼働
	タイムアウト時間	☒ :5分
Bootウォッチドッグ		
	Bootウォッチドッグ	☒ :無効
	動作	☒ :継続稼働
	タイムアウト時間	☒ :100分
時刻		
	タイムモード	☒ :システムRTC
	RTCモード	☒ :UTC
	タイムゾーン	☒ :<任意のタイムゾーン>
ポート番号とネットワークサービス設定		
	Telnet有効	☒ :有効
	Telnetポート(初期値:3172)	☒ :3172
	SSH有効	☒ :有効
	SSHポート(初期値:22)	☒ :22
SNMP一般設定		
	SNMP有効	☒ :有効
	SNMPポート(初期値:161)	☒ :161
	SNMPサービスプロトコル	☒ :全て(SNMPv1/v2c/v3)
	SNMPv1/v2cコミュニティ名	☒ :<任意のコミュニティ名>
SNMPトラップ送信先		
	SNMPトラップコミュニティ	☒ :<任意のコミュニティ名>
	送信先SNMPサーバー1	☒ :<送信先SNMPサーバー1のIPアドレス>
	プロトコル	☒ :SNMPv1
BIOSバックアップ設定		
	自動BIOSパラメーターバックアップ	☒ : ☒

4.2.4 詳細 - [OS]タブ

設定項目		設定値
インストール形式		
	インストール方法	PXE
インストール指定		
	インストールメディア	<インストールするOSのメディアをリストから選択>

設定項目		設定値
	ServerView Suite DVD	最新版数でインストール
管理LANネットワークポート設定		
	ネットワークポート指定	☒
	指定方法	MACアドレス
	MACアドレス	<任意のMACアドレス>
ブートモード指定		
	ブートモード	☒ : ☐ ブートモードを指定する
RAIDとディスクの構成		
	RAIDとディスクの設定	
	アレイコントローラを使用しない	☒ : SATA [注2]
	アレイコントローラを使用する	☒ : 既存アレイ構成を使用する (RAIDを使用しない場合も選択します) [注3]
基本設定		
	キーボード	<任意のキーボード>
ネットワーク		
	使用するVLAN ID	0
インストール後のスクリプト実行 [注1]		
	インストール後のスクリプト実行	☒
	スクリプト格納ディレクトリ	kickstart
	実行するスクリプト	ESXi_Setting.sh

[注1]: この設定項目はクラスタ作成機能が自動で設定します。手動では設定しない(チェックを付けない)でください。

[注2]: ブートデバイス (M.2) 非冗長化構成の場合に指定します。

[注3]: ブートデバイス (M.2) 冗長化構成の場合に指定します。

4.2.5 詳細 - [OS個別情報]タブ

設定項目		設定値
	ライセンス合意	☒
	インストールメディアタイプ	<任意のインストールメディアタイプ>
	Rootパスワード [注]	<任意のRootパスワード>
	Rootパスワード(確認) [注]	<任意のRootパスワード>
ネットワーク		
	DHCP	☐
	IPアドレス	<任意のIPアドレス>
	サブネットマスク	<任意のサブネットマスク>
	デフォルトゲートウェイ	<任意のデフォルトゲートウェイ>
	DNSサーバー	☒ : <任意のDNSサーバーのIPアドレス>
	DNSドメイン名	☒ : ☐ 有効
	コンピューター名をDNSサーバーから取得	☐
	コンピューター名	<任意のコンピューター名>

[注]: シャープ (#)を含むパスワードは指定できません。シャープ (#)を含むパスワードを指定した場合、プロファイル適用で失敗します。

4.3 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct V1のクラスタを作成する場合のプロファイル設定値一覧

本節はPRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct V1 (PRIMERGY M4シリーズ)のクラスタを作成する場合に参照してください。

注意

- ・ 記載のない設定値は、チェックを付けないでください。
- ・ 以下のポリシーで設定する設定項目については、各ポリシーに設定してください。
 - － BIOSポリシー
 - － iRMCポリシー

4.3.1 基本情報

設定項目	設定値
所属グループパス	/ProfileGroup/Administrator
プロファイル名	<任意のプロファイル名>
カテゴリー	Server-RX
BIOSポリシー	<参照するBIOSのポリシー>
iRMCポリシー	<参照するiRMCのポリシー>
OSタイプ	Windows Server
説明	<任意の説明>

4.3.2 詳細 - [BIOS]タブ

設定項目		設定値
CPU Configuration		
	Hyper-Threading	☒ : Enabled
	Intel Virtualization Technology	☒ : Enabled
	Intel Vt-d	☒ : Enabled
	Power Technology	☒ : Custom
	Override OS Energy Performance	☒ : Enabled
	Energy Performance	☒ : Performance
	Package C State limit	☒ : C0
Memory Configuration		
	NUMA	☒ : Enabled
CSM Configuration		
	Launch CSM	☒ : Disabled
Network Stack		
	Network Stack	☒ : Enabled
	IPv4 PXE Support	☒ : Enabled

設定項目		設定値
	IPv6 PXE Support	☒ : Disabled

4.3.3 詳細 - [iRMC]タブ

設定項目		設定値
iRMC GUI		
	デフォルト言語	☒ : <任意デフォルト言語>
電源制御		
	POSTエラー時の動作	☒ : 起動継続
	電源復旧時動作設定	☒ : 電源断前の状態に戻す
	電力制御	☒ : OSによるコントロール
ファンテスト		
	ファン確認時刻	☒ : 23:00
	ファンテスト無効化	☒ : ☒
ソフトウェアウォッチドッグ		
	ソフトウェアウォッチドッグ	☒ : 無効
	動作	☒ : 継続稼働
	タイムアウト時間	☒ : 5分
時刻		
	タイムモード	☒ : システムRTC
	RTCモード	☒ : ローカルタイム
	タイムゾーン	☒ : <任意のタイムゾーン>
ポート番号とネットワークサービス設定		
	Telnet有効	☒ : 有効
	Telnetポート(初期値:3172)	☒ : 3172
	SSH有効	☒ : 有効
	SSHポート(初期値:22)	☒ : 22
SNMP一般設定		
	SNMP有効	☒ : 有効
	SNMPポート(初期値:161)	☒ : 161
	SNMPサービスプロトコル	☒ : 全て(SNMPv1/v2c/v3)
	SNMPv1/v2cコミュニティ名	☒ : <任意のコミュニティ名>
SNMPトラップ送信先		
	SNMPトラップコミュニティ	☒ : <任意のコミュニティ名>
	送信先SNMPサーバー1	☒ : <ISM-VAのIPアドレス>
	プロトコル	☒ : SNMPv1

4.3.4 詳細 - [OS]タブ

設定項目	設定値
インストール形式	

設定項目		設定値
	インストール方法	PXE
インストール指定		
	インストールのタイプ	フルインストール
	インストールメディア	<インストールするOSのメディアをリストから選択>
	ServerViewSuiteDVD	最新版数でインストール
管理LANネットワークポート設定		
	ネットワークポート指定	☒
	指定方法	ポート番号
	ネットワークカード	カード:<任意のスロット番号>
	ポート番号	0
RAIDとディスクの構成		
	RAIDとディスクの設定	
	アレイコントローラを使用する	☒ :既存アレイ構成を使用する
ボリューム		
	ボリューム1	
	ボリュームラベル	system
	ファイルシステム	NTFS
	パーティションサイズ(自動/指定)	自動
	クイックフォーマット	する
	利用形態	Boot,OS
基本設定		
	タイムゾーン	<任意のタイムゾーン>
	地域と言語	<任意の地域と言語>
	キーボード	<任意のキーボード>
システム設定		
	画面解像度[px]	1024x768
	リフレッシュレート[Hz]	75
	画面の色数[bit]	24
役割と機能の追加		
	SNMPサービスのインストール	インストールする
	SNMPトラップ設定	
	コミュニティ名	<任意のコミュニティ名>
	トラップ送信先	<ISM-VAのIPアドレス>
	その他	
	認証トラップの送信	送信する
	SNMPパケットの受付	デフォルトのホストからSNMPパケットを受け付ける (LocalHost)
	サービス	☒ :アプリケーション ☒ :End-To-End ☒ :イーサネット

設定項目				設定値
				☐ : データリンク ☐ : 物理
			リモートデスクトップ	☒ : 有効
			ファイアウォール設定	☐ SCVMMへの登録に必要なファイアウォールの設定を行う
			追加アプリケーション	☒ : Java Runtime Environment [注1] ☒ : ソフトウェアサポートガイド ☒ : ServerViewRAIDManager
インストール後のスクリプト実行 [注2]				
			インストール後のスクリプト実行	☒
			OSに転送するディレクトリ	postscript_ClusterOperation
			実行するスクリプト	WinSvr_Setting.bat

[注1]:SVIM V13.18.12以降を使用する場合は、Javaのインストールができません。チェックを外してください。

[注2]:この設定項目はクラスタ作成機能が自動で設定します。手動では設定しない(チェックを付けない)でください。

4.3.5 詳細 - [OS個別情報]タブ

設定項目				設定値
インストールメディアタイプ				※[OS]-[インストール指定]-[インストールメディア]と同じものが自動で表示される
ユーザー名				PRIMEFLEX
組織				FUJITSU
コンピューター名				<任意のコンピューター名>
Administratorパスワード				<任意のパスワード>
Administratorパスワード(確認)				<任意のパスワード>
ワークグループ/ドメイン				
			ワークグループ/ドメイン	ドメイン
			ワークグループ/ドメイン名	<既存の参加するドメイン> [注]
			ドメインユーザー名	<既存の参加するドメインのユーザー>
			ドメインパスワード	<既存の参加するドメインのユーザーのパスワード>
			ドメインパスワード(確認)	<既存の参加するドメインのユーザーのパスワード>
ネットワーク				
			DHCP	☐
			IPアドレス	<任意のIPアドレス>
			サブネットマスク	<任意のサブネットマスク>
			デフォルトゲートウェイ	<任意のデフォルトゲートウェイ>
			DNSサーバー1	☒ : <任意のDNSサーバーのIPアドレス>
			DNSドメイン名	☒ : <DNSのドメイン名> [注]

[注]:ドメイン名は、UPN(User Principal Name)形式で指定してください。

4.4 PRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCI V1のクラスタを作成する場合のプロファイル設定値一覧

本節はPRIMEFLEX for Microsoft Azure Stack HCI V1 (PRIMERGY M5シリーズ)のクラスタを作成する場合に参照してください。



- ・ 記載のない設定値は、チェックを付けないでください。
- ・ 以下のポリシーで設定する設定項目については、各ポリシーに設定してください。
 - － BIOSポリシー
 - － iRMCポリシー
 - － OSポリシー

4.4.1 基本情報

設定項目	設定値
所属グループパス	/ProfileGroup/Administrator
プロファイル名	<任意のプロファイル名>
カテゴリー	Server-RX
BIOSポリシー	<参照するBIOSのポリシー>
iRMCポリシー	<参照するiRMCのポリシー>
OSタイプ	Windows Server
OSポリシー	<参照するOSのポリシー>
説明	<任意の説明>

4.4.2 詳細 - [BIOS]タブ

設定項目		設定値
CPU Configuration		
	Hyper-Threading	☒ : Enabled
	Intel Virtualization Technology	☒ : Enabled
	Intel Vt-d	☒ : Enabled
	Power Technology	☒ : Custom
	Override OS Energy Performance	☒ : Enabled
	Energy Performance	☒ : Performance
	Package C State limit	☒ : C0
Memory Configuration		
	NUMA	☒ : Enabled
Option ROM Configuration (サーバー上に存在しないスロット番号は対象外としてください。)		
	Launch Slot 1 OpROM	☒ : Enabled[注1] [注2]
	Launch Slot 2 OpROM	☒ : Enabled[注1] [注2]
	Launch Slot 3 OpROM	☒ : Enabled[注1] [注2]
	Launch Slot 4 OpROM	☒ : Enabled[注1]

設定項目		設定値
	Launch Slot 7 OpROM	☒ : Enabled[注2]
	Launch Slot 8 OpROM	☒ : Enabled[注2]
	Launch Slot 9 OpROM	☒ : Enabled[注2]
CSM Configuration		
	Launch CSM	☒ : Disabled
Network Stack		
	Network Stack	☒ : Enabled
	IPv4 PXE Support	☒ : Enabled
	IPv6 PXE Support	☒ : Disabled

[注1]:PRIMERGY RX2530 M5の場合に指定します。

[注2]:PRIMERGY RX2540 M5の場合に指定します。

4.4.3 詳細 - [iRMC]タブ

設定項目		設定値
iRMC GUI		
	デフォルト言語	☒ : <任意デフォルト言語>
電源制御		
	POSTエラー時の動作	☒ : 起動継続
	電源復旧時動作設定	☒ : 電源断前の状態に戻す
	電力制御	☒ : OSによるコントロール
ファンテスト		
	ファン確認時刻	☒ : 23:00
	ファンテスト無効化	☒ : ☒
ソフトウェアウォッチドッグ		
	ソフトウェアウォッチドッグ	☒ : 無効
	動作	☒ : 継続稼働
	タイムアウト時間	☒ : 5分
時刻		
	タイムモード	☒ : システムRTC
	RTCモード	☒ : ローカルタイム
	タイムゾーン	☒ : <任意のタイムゾーン>
ポート番号とネットワークサービス設定		
	Telnet有効	☐
	Telnetポート(初期値:3172)	☐
	SSH有効	☒ : 有効
	SSHポート(初期値:22)	☒ : 22
SNMP一般設定		
	SNMP有効	☒ : 有効
	SNMPポート(初期値:161)	☒ : 161

設定項目		設定値
	SNMPサービスプロトコル	☒ : 全て(SNMPv1/v2c/v3)
	SNMPv1/v2cコミュニティ名	☒ : <任意のコミュニティ名>
SNMPトラップ送信先		
	SNMPトラップコミュニティ	☒ : <任意のコミュニティ名>
	送信先SNMPサーバー1	☒ : <ISM-VAのIPアドレス>
	プロトコル	☒ : SNMPv1
中央認証サービス(CAS)		
	CASサポート	☒ : ☒
CASサーバー		
	サーバー	☒ : <ISM-VAのIPアドレス>
	ネットワークポート	☒ : 25593
	ログインページ表示	☒ : ☒
	ログインURL	☒ : /cas/login
	ログアウトURL	☒ : /cas/logout
	認証URL	☒ : /cas/validate
ユーザー権限とパーミッション		
	権限レベル	☒ : OEM
	Redfishロール	☒ : 管理者
	ユーザーアカウント変更	☒ : ☒
	iRMC設定変更	☒ : ☒
	ビデオリダイレクション使用	☒ : ☒
	リモートストレージ使用	☒ : ☒
BIOSバックアップ設定		
	自動BIOSパラメーターバックアップ	☒ : ☒

4.4.4 詳細 - [OS]タブ

設定項目		設定値
インストール形式		
	インストール方法	PXE
インストール指定		
	インストールのタイプ	フルインストール
	インストールメディア	<インストールするOSのメディアをリストから選択>
	ServerViewSuiteDVD	最新版数でインストール
管理LANネットワークポート設定		
	ネットワークポート指定	☒
	指定方法	ポート番号
	ネットワークカード	カード: <任意のスロット番号>
	ポート番号	0
RAIDとディスクの構成		

設定項目		設定値
RAIDとディスクの設定		
	アレイコントローラを使用する	☒ :既存アレイ構成を使用する
ボリューム		
	ボリューム1	
	ボリュームラベル	system
	ファイルシステム	NTFS
	パーティションサイズ(自動/指定)	自動
	クイックフォーマット	する
	利用形態	Boot,OS
基本設定		
	タイムゾーン	<任意のタイムゾーン>
	地域と言語	<任意の地域と言語>
	キーボード	<任意のキーボード>
システム設定		
	画面解像度[px]	1024x768
	リフレッシュレート[Hz]	75
	画面の色数[bit]	24
役割と機能の追加		
	SNMPサービスのインストール	インストールする
	SNMPトラップ設定	
	コミュニティ名	<任意のコミュニティ名>
	トラップ送信先	<ISM-VAのIPアドレス>
	その他	
	認証トラップの送信	送信する
	SNMPパケットの受付	デフォルトのホストからSNMPパケットを受け付ける (LocalHost)
	サービス	☒ :アプリケーション ☒ :End-To-End ☒ :イーサネット ☐ :データリンク ☐ :物理
	リモートデスクトップ	☒ :有効
	ファイアウォール設定	☐ SCVMMへの登録に必要なファイアウォールの設定を行う
	追加アプリケーション	☒ :ServerViewエージェント ☒ :Java Runtime Environment [注1] ☒ :ソフトウェアサポートガイド ☒ :ServerViewRAIDManager
インストール後のスクリプト実行 [注2]		
	インストール後のスクリプト実行	☒
	OSに転送するディレクトリ	postscript_ClusterOperation
	実行するスクリプト	WinSvr_Setting.bat

[注1] SVIM V13.18.12以降を使用する場合は、Javaのインストールができません。チェックを外してください。

[注2]:この設定項目はクラスタ作成機能が自動で設定します。手動では設定しない(チェックを付けない)でください。

4.4.5 詳細 - [OS個別情報]タブ

設定項目		設定値
インストールメディアタイプ		※[OS]-[インストール指定]-[インストールメディア]と同じものが自動で表示される
ユーザー名		PRIMEFLEX
組織		FUJITSU
コンピューター名		<任意のコンピューター名>
Administratorパスワード		<任意のパスワード>
Administratorパスワード(確認)		<任意のパスワード>
ワークグループ/ドメイン		
	ワークグループ/ドメイン	ドメイン
	ワークグループ/ドメイン名	<既存の参加するドメイン> [注]
	ドメインユーザー名	<既存の参加するドメインのユーザー>
	ドメインパスワード	<既存の参加するドメインのユーザーのパスワード>
	ドメインパスワード(確認)	<既存の参加するドメインのユーザーのパスワード>
ネットワーク		
	DHCP	☐
	IPアドレス	<任意のIPアドレス>
	サブネットマスク	<任意のサブネットマスク>
	デフォルトゲートウェイ	<任意のデフォルトゲートウェイ>
	DNSサーバー1	☒ :<任意のDNSサーバーのIPアドレス>
	DNSドメイン名	☒ :<DNSのドメイン名> [注]

[注]:ドメイン名は、UPN (User Principal Name) 形式で指定してください。

4.5 PRIMEFLEX HSにPRIMERGY M4シリーズをクラスタ拡張する場合のプロファイル設定値一覧

本節はPRIMEFLEX HS (PRIMERGY M2シリーズ) に後継機種PRIMERGY M4シリーズを拡張する場合に参照してください。



注意

- 記載のない設定値は、チェックを付けないでください。
- 以下のポリシーで設定する設定項目については、各ポリシーに設定してください。
 - BIOSポリシー
 - iRMCポリシー
 - OSポリシー

4.5.1 基本情報

設定項目	設定値
所属グループパス	/ProfileGroup/Administrator 前方一致
プロファイル名	<任意のプロファイル名>
カテゴリー	Server-RXまたはServer-CX
BIOSポリシー	<参照するBIOSのポリシー>
iRMCポリシー	<参照するiRMCのポリシー>
OSタイプ	VMware ESXi
OSポリシー	<参照するOSのポリシー>
説明	<任意の説明>

4.5.2 詳細 - [BIOS]タブ

設定項目	設定値
CPU Configuration	
Hyper-Threading	☒ : Enabled
Intel Virtualization Technology	☒ : Enabled
Intel Vt-d	☒ : Enabled
Power Technology	☒ : Custom [注1]
Enhanced Speed Step	☒ : Disabled [注2]
Turbo Mode	☒ : Disabled [注2]
Override OS Energy Performance	☒ : Enabled
Energy Performance	☒ : Performance
CPU C1E Support	☒ : Disabled [注2]
CPU C6 Report	☒ : Disabled [注2]
Package C State limit	☒ : C0
Memory Configuration	
NUMA	☒ : Enabled
DDR Performance	☒ : Performance optimized
CSM Configuration	
Launch CSM	☒ : Disabled
Network Stack	
Network Stack	☒ : Enabled
IPv4 PXE Support	☒ : Enabled
IPv6 PXE Support	☒ : Disabled

[注1]:PRIMERGY RXシリーズ構成の場合、「BIOS設定」画面に表示されない項目ですが、[Override OS Energy Performance]と[Energy Performance]を設定するために必要な設定値です。

[注2]:PRIMERGY CXシリーズ構成の場合に設定する設定値です。

4.5.3 詳細 - [iRMC]タブ

設定項目		設定値
iRMC GUI		
	デフォルト言語	☒ : <任意のデフォルト言語>
電源制御		
	POSTエラー時の動作	☒ : 起動継続
	電源復旧時動作設定	☒ : 電源断前の状態に戻す
	電力制御	☒ : OSによるコントロール
ファンテスト		
	ファン確認時刻	☒ : 23:00
	ファンテスト無効化	☒ : ☐
ソフトウェアウォッチドッグ		
	ソフトウェアウォッチドッグ	☒ : 無効
	動作	☒ : 継続稼働
	タイムアウト時間	☒ : 5分
Bootウォッチドッグ		
	Bootウォッチドッグ	☒ : 無効
	動作	☒ : 継続稼働
	タイムアウト時間	☒ : 100分
時刻		
	タイムモード	☒ : システムRTC
	RTCモード	☒ : UTC
	タイムゾーン	☒ : <任意のタイムゾーン>
ポート番号とネットワークサービス設定		
	Telnet有効	☒ : 有効
	Telnetポート(初期値:3172)	☒ : 3172
	SSH有効	☒ : 有効
	SSHポート(初期値:22)	☒ : 22
SNMP一般設定		
	SNMP有効	☒ : 有効
	SNMPポート(初期値:161)	☒ : 161
	SNMPサービスプロトコル	☒ : 全て(SNMPv1/v2c/v3)
	SNMPv1/v2cコミュニティ名	☒ : <任意のコミュニティ名>
SNMPトラップ送信先		
	SNMPトラップコミュニティ	☒ : <任意のコミュニティ名>
	送信先SNMPサーバー1	☒ : <送信先SNMPサーバー1のIPアドレス>
	プロトコル	☒ : SNMPv1

4.5.4 詳細 - [OS]タブ

設定項目	設定値
インストール形式	

設定項目		設定値
	インストール方法	PXE
インストール指定		
	インストールメディア	<インストールするOSのメディアをリストから選択>
	ServerView Suite DVD	最新版数でインストール
管理LANネットワークポート設定		
	ネットワークポート指定	☒
	指定方法	MACアドレス
	MACアドレス	<任意のMACアドレス>
RAIDとディスクの構成		
	RAIDとディスクの設定	
	アレイコントローラを使用しない	☒ :SATA
基本設定		
	キーボード	<任意のキーボード>
ネットワーク		
	使用するVLAN ID	0
インストール後のスクリプト実行 [注]		
	インストール後のスクリプト実行	☒
	スクリプト格納ディレクトリ	kickstart
	実行するスクリプト	ESXi_Setting.sh

[注]:この設定項目はクラスタ拡張機能が自動で設定します。手動では設定しない(チェックを付けない)でください。

4.5.5 詳細 - [OS個別情報]タブ

設定項目		設定値
	ライセンス合意	☒
	インストールメディアタイプ	<任意のインストールメディアタイプ>
	Rootパスワード [注]	<任意のRootパスワード>
	Rootパスワード(確認) [注]	<任意のRootパスワード>
ネットワーク		
	DHCP	☐
	IPアドレス	<任意のIPアドレス>
	サブネットマスク	<任意のサブネットマスク>
	デフォルトゲートウェイ	<任意のデフォルトゲートウェイ>
	DNSサーバー	☒ :<任意のDNSサーバーのIPアドレス>
	コンピューター名をDNSサーバーから取得	☐
	コンピューター名	<任意のコンピューター名>

[注]:シャープ (#)を含むパスワードは指定できません。シャープ (#)を含むパスワードを指定した場合、プロファイル適用で失敗します。

4.6 PRIMEFLEX HSにPRIMERGY M5シリーズをクラスタ拡張する場合のプロファイル設定値一覧

本節はPRIMEFLEX HS (PRIMERGY M2シリーズ) に後継機種PRIMERGY M5シリーズを拡張する場合に参照してください。



注意

- ・ 記載のない設定値は、チェックを付けないでください。
- ・ 以下のポリシーで設定する設定項目については、各ポリシーに設定してください。
 - － BIOSポリシー
 - － iRMCポリシー
 - － OSポリシー

4.6.1 基本情報

設定項目	設定値
所属グループパス	/ProfileGroup/Administrator 前方一致
プロファイル名	<任意のプロファイル名>
カテゴリー	Server-RXまたはServer-CX
BIOSポリシー	<参照するBIOSのポリシー>
iRMCポリシー	<参照するiRMCのポリシー>
OSタイプ	VMware ESXi
OSポリシー	<参照するOSのポリシー>
説明	<任意の説明>

4.6.2 詳細 - [BIOS]タブ

設定項目	設定値
CPU Configuration	
Hyper-Threading	☒ : Enabled
Intel Virtualization Technology	☒ : Enabled
Intel Vt-d	☒ : Enabled
Power Technology	☒ : Custom [注1]
Enhanced Speed Step	☒ : Disabled [注2]
Turbo Mode	☒ : Disabled [注2]
Override OS Energy Performance	☒ : Enabled
Energy Performance	☒ : Performance
CPU C1E Support	☒ : Disabled [注2]
CPU C6 Report	☒ : Disabled [注2]
Package C State limit	☒ : C0
Memory Configuration	
NUMA	☒ : Enabled

設定項目		設定値
	DDR Performance	☒ : Performance optimized
CSM Configuration		
	Launch CSM	☒ : Disabled
Network Stack		
	Network Stack	☒ : Enabled
	IPv4 PXE Support	☒ : Enabled
	IPv6 PXE Support	☒ : Disabled

[注1]:PRIMERGY RXシリーズ構成の場合、「BIOS設定」画面に表示されない項目ですが、[Override OS Energy Performance]と[Energy Performance]を設定するために必要な設定値です。

[注2]:PRIMERGY CXシリーズ構成の場合に設定する設定値です。

4.6.3 詳細 - [iRMC]タブ

設定項目		設定値
iRMC GUI		
	デフォルト言語	☒ : <任意のデフォルト言語>
電源制御		
	POSTエラー時の動作	☒ : 起動継続
	電源復旧時動作設定	☒ : 電源断前の状態に戻す
	電力制御	☒ : OSによるコントロール
ファンテスト		
	ファン確認時刻	☒ : 23:00
	ファンテスト無効化	☒ : ☐
ソフトウェアウォッチドッグ		
	ソフトウェアウォッチドッグ	☒ : 無効
	動作	☒ : 継続稼働
	タイムアウト時間	☒ : 5分
Bootウォッチドッグ		
	Bootウォッチドッグ	☒ : 無効
	動作	☒ : 継続稼働
	タイムアウト時間	☒ : 100分
時刻		
	タイムモード	☒ : システムRTC
	RTCモード	☒ : UTC
	タイムゾーン	☒ : <任意のタイムゾーン>
ポート番号とネットワークサービス設定		
	Telnet有効	☒ : 有効
	Telnetポート(初期値:3172)	☒ : 3172
	SSH有効	☒ : 有効
	SSHポート(初期値:22)	☒ : 22

設定項目		設定値
SNMP一般設定		
	SNMP有効	☒ :有効
	SNMPポート(初期値:161)	☒ :161
	SNMPサービスプロトコル	☒ :全て(SNMPv1/v2c/v3)
	SNMPv1/v2cコミュニティ名	☒ :<任意のコミュニティ名>
SNMPトラップ送信先		
	SNMPトラップコミュニティ	☒ :<任意のコミュニティ名>
	送信先SNMPサーバー1	☒ :<送信先SNMPサーバー1のIPアドレス>
	プロトコル	☒ :SNMPv1

4.6.4 詳細 - [OS]タブ

設定項目		設定値
インストール形式		
	インストール方法	PXE
インストール指定		
	インストールメディア	<インストールするOSのメディアをリストから選択>
	ServerView Suite DVD	最新版数でインストール
管理LANネットワークポート設定		
	ネットワークポート指定	☒
	指定方法	MACアドレス
	MACアドレス	<任意のMACアドレス>
RAIDとディスクの構成		
	RAIDとディスクの設定	
	アレイコントローラを使用しない	☒ :SATA [注2]
	アレイコントローラを使用する	☒ :既存アレイ構成を使用する (RAIDを使用しない場合も選択します) [注3]
基本設定		
	キーボード	<任意のキーボード>
ネットワーク		
	使用するVLAN ID	0
インストール後のスクリプト実行 [注1]		
	インストール後のスクリプト実行	☒
	スクリプト格納ディレクトリ	kickstart
	実行するスクリプト	ESXi_Setting.sh

[注1]:この設定項目はクラスタ拡張機能が自動で設定します。手動では設定しない(チェックを付けない)でください。

[注2]:ブートデバイス(M.2)非冗長化構成の場合に指定します。

[注3]:ブートデバイス(M.2)冗長化構成の場合に指定します。

4.6.5 詳細 - [OS個別情報]タブ

設定項目		設定値
ライセンス合意		☒
インストールメディアタイプ		<任意のインストールメディアタイプ>
Rootパスワード [注]		<任意のRootパスワード>
Rootパスワード(確認) [注]		<任意のRootパスワード>
ネットワーク		
	DHCP	☐
	IPアドレス	<任意のIPアドレス>
	サブネットマスク	<任意のサブネットマスク>
	デフォルトゲートウェイ	<任意のデフォルトゲートウェイ>
	DNSサーバー	☒ :<任意のDNSサーバーのIPアドレス>
	コンピューター名をDNSサーバーから取得	☐
	コンピューター名	<任意のコンピューター名>

[注]: シャープ (#)を含むパスワードは指定できません。シャープ (#)を含むパスワードを指定した場合、プロファイル適用で失敗します。

4.7 PRIMEFLEX for VMware vSAN V1にPRIMERGY M5シリーズをクラスタ拡張する場合のプロファイル設定値一覧

本節はPRIMEFLEX for VMware vSAN V1 (PRIMERGY M4シリーズ)に後継機種PRIMERGY M5シリーズを拡張する場合に参照してください。



注意

- ・ 記載のない設定値は、チェックを付けしないでください。
- ・ 以下のポリシーで設定する設定項目については、各ポリシーに設定してください。
 - － BIOSポリシー
 - － iRMCポリシー
 - － OSポリシー

4.7.1 基本情報

設定項目	設定値
所属グループパス	/ProfileGroup/Administrator 前方一致
プロファイル名	<任意のプロファイル名>
カテゴリー	Server-RXまたはServer-CX
BIOSポリシー	<参照するBIOSのポリシー>
iRMCポリシー	<参照するiRMCのポリシー>
OSタイプ	VMware ESXi
OSポリシー	<参照するOSのポリシー>
説明	<任意の説明>

4.7.2 詳細 - [BIOS]タブ

設定項目		設定値
CPU Configuration		
	Hyper-Threading	☒ : Enabled
	Intel Virtualization Technology	☒ : Enabled
	Intel Vt-d	☒ : Enabled
	Power Technology	☒ : Custom [注1]
	Enhanced Speed Step	☒ : Disabled [注2]
	Turbo Mode	☒ : Disabled [注2]
	Override OS Energy Performance	☒ : Enabled
	Energy Performance	☒ : Performance
	CPU C1E Support	☒ : Disabled [注2]
	CPU C6 Report	☒ : Disabled [注2]
	Package C State limit	☒ : C0
Memory Configuration		
	NUMA	☒ : Enabled
	DDR Performance	☒ : Performance optimized
CSM Configuration		
	Launch CSM	☒ : Disabled
Network Stack		
	Network Stack	☒ : Enabled
	IPv4 PXE Support	☒ : Enabled
	IPv6 PXE Support	☒ : Disabled

[注1]:PRIMERGY RXシリーズ構成の場合、「BIOS設定」画面に表示されない項目ですが、[Override OS Energy Performance]と[Energy Performance]を設定するために必要な設定値です。

[注2]:PRIMERGY CXシリーズ構成の場合に設定する設定値です。

4.7.3 詳細 - [iRMC]タブ

設定項目		設定値
iRMC GUI		
	デフォルト言語	☒ : <任意のデフォルト言語>
電源制御		
	POSTエラー時の動作	☒ : 起動継続
	電源復旧時動作設定	☒ : 電源断前の状態に戻す
	電力制御	☒ : OSによるコントロール
ファンテスト		
	ファン確認時刻	☒ : 23:00
	ファンテスト無効化	☒ : ☐
ソフトウェアウォッチドッグ		
	ソフトウェアウォッチドッグ	☒ : 無効

設定項目		設定値
	動作	☒ :継続稼働
	タイムアウト時間	☒ :5分
Bootウォッチドッグ		
	Bootウォッチドッグ	☒ :無効
	動作	☒ :継続稼働
	タイムアウト時間	☒ :100分
時刻		
	タイムモード	☒ :システムRTC
	RTCモード	☒ :UTC
	タイムゾーン	☒ :<任意のタイムゾーン>
ポート番号とネットワークサービス設定		
	Telnet有効	☒ :有効
	Telnetポート(初期値:3172)	☒ :3172
	SSH有効	☒ :有効
	SSHポート(初期値:22)	☒ :22
SNMP一般設定		
	SNMP有効	☒ :有効
	SNMPポート(初期値:161)	☒ :161
	SNMPサービスプロトコル	☒ :全て(SNMPv1/v2c/v3)
	SNMPv1/v2cコミュニティ名	☒ :<任意のコミュニティ名>
SNMPトラップ送信先		
	SNMPトラップコミュニティ	☒ :<任意のコミュニティ名>
	送信先SNMPサーバー1	☒ :<送信先SNMPサーバー1のIPアドレス>
	プロトコル	☒ :SNMPv1
BIOSバックアップ設定		
	自動BIOSパラメーターバックアップ	☒ : ☒

4.7.4 詳細 - [OS]タブ

設定項目		設定値
インストール形式		
	インストール方法	PXE
インストール指定		
	インストールメディア	<インストールするOSのメディアをリストから選択>
	ServerView Suite DVD	最新版数でインストール
管理LANネットワークポート設定		
	ネットワークポート指定	☒
	指定方法	MACアドレス
	MACアドレス	<任意のMACアドレス>
RAIDとディスクの構成		

設定項目		設定値
	RAIDとディスクの設定	
	アレイコントローラを使用しない	☒ :SATA [注2]
	アレイコントローラを使用する	☒ :既存アレイ構成を使用する(RAIDを使用しない場合も選択します) [注3]
基本設定		
	キーボード	<任意のキーボード>
ネットワーク		
	使用するVLAN ID	0
インストール後のスクリプト実行 [注1]		
	インストール後のスクリプト実行	☒
	スクリプト格納ディレクトリ	kickstart
	実行するスクリプト	ESXi_Setting.sh

[注1]:この設定項目はクラスタ拡張機能が自動で設定します。手動では設定しない(チェックを付けない)でください。

[注2]:ブートデバイス(M.2)非冗長化構成の場合に指定します。

[注3]:ブートデバイス(M.2)冗長化構成の場合に指定します。

4.7.5 詳細 - [OS個別情報]タブ

設定項目		設定値
ライセンス合意		☒
インストールメディアタイプ		<任意のインストールメディアタイプ>
Rootパスワード [注]		<任意のRootパスワード>
Rootパスワード(確認) [注]		<任意のRootパスワード>
ネットワーク		
	DHCP	☐
	IPアドレス	<任意のIPアドレス>
	サブネットマスク	<任意のサブネットマスク>
	デフォルトゲートウェイ	<任意のデフォルトゲートウェイ>
	DNSサーバー	☒ :<任意のDNSサーバーのIPアドレス>
	コンピューター名をDNSサーバーから取得	☐
	コンピューター名	<任意のコンピューター名>

[注]:シャープ (#)を含むパスワードは指定できません。シャープ (#)を含むパスワードを指定した場合、プロファイル適用で失敗します。

4.8 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct V1に PRIMERGY M5シリーズをクラスタ拡張する場合のプロファイル設定値 一覧

本節はPRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct (PRIMERGY M4シリーズ)に後継機種PRIMERGY M5シリーズを拡張する場合に参照してください。



注意

- ・ 記載のない設定値は、チェックを付けないでください。
- ・ 以下のポリシーで設定する設定項目については、各ポリシーに設定してください。
 - － BIOSポリシー
 - － iRMCポリシー
 - － OSポリシー

4.8.1 基本情報

設定項目	設定値
所属グループパス	/ProfileGroup/Administrator
プロファイル名	< 任意のプロファイル名 >
カテゴリー	Server-RX
BIOSポリシー	< 参照するBIOSのポリシー >
iRMCポリシー	< 参照するiRMCのポリシー >
OSタイプ	Windows Server
OSポリシー	< 参照するOSのポリシー >
説明	< 任意の説明 >

4.8.2 詳細 - [BIOS]タブ

設定項目		設定値
CPU Configuration		
	Hyper-Threading	☒ : Enabled
	Intel Virtualization Technology	☒ : Enabled
	Intel Vt-d	☒ : Enabled
	Power Technology	☒ : Custom
	Override OS Energy Performance	☒ : Enabled
	Energy Performance	☒ : Performance
	Package C State limit	☒ : C0
Memory Configuration		
	NUMA	☒ : Enabled
Option ROM Configuration (サーバー上に存在しないスロット番号は対象外としてください。)		
	Launch Slot 1 OpROM	☒ : Enabled[注1] [注2]
	Launch Slot 2 OpROM	☒ : Enabled[注1] [注2]
	Launch Slot 3 OpROM	☒ : Enabled[注1] [注2]
	Launch Slot 4 OpROM	☒ : Enabled[注1]
	Launch Slot 7 OpROM	☒ : Enabled[注2]
	Launch Slot 8 OpROM	☒ : Enabled[注2]
	Launch Slot 9 OpROM	☒ : Enabled[注2]
CSM Configuration		

設定項目		設定値
	Launch CSM	☒ : Disabled
Network Stack		
	Network Stack	☒ : Enabled
	IPv4 PXE Support	☒ : Enabled
	IPv6 PXE Support	☒ : Disabled

[注1]:PRIMERGY RX2530 M5の場合に指定します。

[注2]:PRIMERGY RX2540 M5の場合に指定します。

4.8.3 詳細 - [iRMC]タブ

設定項目		設定値
iRMC GUI		
	デフォルト言語	☒ : <任意デフォルト言語>
電源制御		
	POSTエラー時の動作	☒ : 起動継続
	電源復旧時動作設定	☒ : 電源断前の状態に戻す
	電力制御	☒ : OSによるコントロール
ファンテスト		
	ファン確認時刻	☒ : 23:00
	ファンテスト無効化	☒ : ☒
ソフトウェアウォッチドッグ		
	ソフトウェアウォッチドッグ	☒ : 無効
	動作	☒ : 継続稼働
	タイムアウト時間	☒ : 5分
時刻		
	タイムモード	☒ : システムRTC
	RTCモード	☒ : ローカルタイム
	タイムゾーン	☒ : <任意のタイムゾーン>
ポート番号とネットワークサービス設定		
	Telnet有効	☒ : 有効
	Telnetポート(初期値:3172)	☒ : 3172
	SSH有効	☒ : 有効
	SSHポート(初期値:22)	☒ : 22
SNMP一般設定		
	SNMP有効	☒ : 有効
	SNMPポート(初期値:161)	☒ : 161
	SNMPサービスプロトコル	☒ : 全て(SNMPv1/v2c/v3)
	SNMPv1/v2cコミュニティ名	☒ : <任意のコミュニティ名>
SNMPトラップ送信先		
	SNMPトラップコミュニティ	☒ : <任意のコミュニティ名>

設定項目		設定値
	送信先SNMPサーバー1	☒ : <ISM-VAのIPアドレス>
	プロトコル	☒ : SNMPv1

4.8.4 詳細 - [OS]タブ

設定項目		設定値
インストール形式		
	インストール方法	PXE
インストール指定		
	インストールのタイプ	フルインストール
	インストールメディア	<インストールするOSのメディアをリストから選択>
	ServerViewSuiteDVD	最新版数でインストール
管理LANネットワークポート設定		
	ネットワークポート指定	☒
	指定方法	ポート番号
	ネットワークカード	カード:<任意のスロット番号>
	ポート番号	0
RAIDとディスクの構成		
	RAIDとディスクの設定	
	アレイコントローラを使用する	☒ : 既存アレイ構成を使用する
ボリューム		
	ボリューム1	
	ボリュームラベル	system
	ファイルシステム	NTFS
	パーティションサイズ(自動/指定)	自動
	クイックフォーマット	する
	利用形態	Boot,OS
基本設定		
	タイムゾーン	<任意のタイムゾーン>
	地域と言語	<任意の地域と言語>
	キーボード	<任意のキーボード>
システム設定		
	画面解像度[px]	1024x768
	リフレッシュレート[Hz]	75
	画面の色数[bit]	24
役割と機能の追加		
	SNMPサービスのインストール	インストールする
	SNMPトラップ設定	
	コミュニティ名	<任意のコミュニティ名>
	トラップ送信先	<ISM-VAのIPアドレス>

設定項目			設定値
	その他		
		認証トラップの送信	送信する
		SNMPパケットの受付	デフォルトのホストからSNMPパケットを受け付ける (LocalHost)
		サービス	☒ :アプリケーション ☒ :End-To-End ☒ :イーサーネット ☐ :データリンク ☐ :物理
	リモートデスクトップ		☒ :有効
	ファイアウォール設定		☐ SCVMMへの登録に必要なファイアウォールの設定を行う
	追加アプリケーション		☒ :Java Runtime Environment [注1] ☒ :ソフトウェアサポートガイド ☒ :ServerViewRAIDManager
インストール後のスクリプト実行 [注2]			
	インストール後のスクリプト実行		☒
	OSに転送するディレクトリ	postscript_ClusterOperation	
	実行するスクリプト	WinSvr_Setting.bat	

[注1]:SVIM V13.18.12以降を使用する場合は、Javaのインストールができません。チェックを外してください。

[注2]:この設定項目はクラスタ拡張機能が自動で設定します。手動では設定しない(チェックを付けない)でください。

4.8.5 詳細 - [OS個別情報]タブ

設定項目			設定値
インストールメディアタイプ			※[OS]-[インストール指定]-[インストールメディア]と同じものが自動で表示される
ユーザー名			PRIMEFLEX
組織			FUJITSU
コンピューター名			<任意のコンピューター名>
Administratorパスワード			<任意のパスワード>
Administratorパスワード(確認)			<任意のパスワード>
ワークグループ/ドメイン			
	ワークグループ/ドメイン		ドメイン
		ワークグループ/ドメイン名	<既存の参加するドメイン> [注]
		ドメインユーザー名	<既存の参加するドメインのユーザー>
		ドメインパスワード	<既存の参加するドメインのユーザーのパスワード>
		ドメインパスワード(確認)	<既存の参加するドメインのユーザーのパスワード>
ネットワーク			
	DHCP		☐
		IPアドレス	<任意のIPアドレス>
		サブネットマスク	<任意のサブネットマスク>
		デフォルトゲートウェイ	<任意のデフォルトゲートウェイ>

設定項目			設定値
		DNSサーバー1	☒ : <任意のDNSサーバーのIPアドレス>
		DNSドメイン名	☒ : <DNSのドメイン名> [注]

[注]:ドメイン名は、UPN (User Principal Name) 形式で指定してください。